

「医療に関する国民意識調査」

—調査結果報告の要旨—

健康保険組合連合会

健保連は、平成 19 年 9 月に引き続き本年 7 月に、国民の皆様にも医療問題について幅広くアンケート形式による意識調査を実施致しました。この度、結果を取りまとめましたので、ご報告致します。

1. 医療機関の受診のあり方 (P8 図表 2-2-11~P12 図表 2-2-24)

日頃から決まった医師・医療機関を受診している人は 69.4%に達し、病気になるといつも相談する医師がいる人の約 9 割が診療所を受診。「最初に決まった医師を受診し、医師の判断で必要に応じて病院等を受診する」に賛成する回答が 56.7%と過半数を占めた。また、賛成の人も登録医制のような厳格な方法には 60.1%が不安を感じているが、前回調査の 79.3%から大幅に減少した。

日頃から決まった医師ないしは医療機関を受診している人が回答者全体の 69.4% (前回 73.0%)、また、病気になるといつも相談する医師がいる人のうち、88.3% (前回 82.8%) の人が一般診療所を受診しています。かかりつけ医への期待は「自宅から近く、病気や治療についてよく説明し、人柄が良い」こと。

医療機関の受診のあり方については、「最初に決まった医師を受診し、医師の判断で必要に応じて病院等を受診する」という考え方に賛成する回答が 56.7% (前回 53.0%) と過半数を占めました。また、賛成した人でも、一般診療所の医師を事前に選んで登録しておき、最初にその医師を必ず受診し、救急以外では病院を自由に受診できないといった厳格な方法には「不安を感じる」との回答が 60.1%を占めていますが、前回調査 (79.3%) に比べると大幅に減少し、「不安を感じない」が 34.0% (前回 11.7%) に増加しています。

2. 医療への満足度 (P25 図表 2-4-1~P27 図表 2-4-4)

「不満」を持つとの回答が前回調査時より約 15 ポイント増えて 62.9%に上り、「医療機関への要望がある」との回答は 90.0%に達している。「待ち時間を短く」「病気の状態や治療法の説明」「専門医療機関の紹介」が要望の上位に。

現在の医療の満足度については、「不満」を持つとの回答が 62.9% (前回 47.1%) に上り、「医療機関への要望がある」との回答は 90.0% (前回 79.7%) に達していま

す。医療機関への要望の内容としては、「待ち時間を短くしてほしい」（68.1%、前回70.2%）、「病気の状態や治療法をよく説明してほしい」（54.6%、前回53.4%）、「難しい病気のときは、専門の医療機関を紹介してほしい」（42.8%、前回36.5%）が上位にあがりました。

また、今後の医療のあり方として希望することについては「医療従事者の確保・育成」（66.0%、前回71.5%）とともに、「夜間・休日の救急医療体制の整備」（45.0%、前回64.1%）、「高度な機能を有する医療機関の整備」（44.9%）が上位にあがっています。

3. 医療費について（P29 図表 2-4-7～P32 図表 2-4-15）

国民医療費は「高い」が65.2%、国民の負担については「重い」が74.1%に上っている。医療費をまかなう方法は「税金」、「患者負担」で、「保険料」は大幅に減少した。抑制方法は「ジェネリック医薬品」と「病気の予防」。

わが国の国民医療費については、「高い」との回答が65.2%（前回71.9%）に及んでいます。

また、医療費の国民負担が「重い」との回答は74.1%（前回79.3%）に上り、特に「保険料が高すぎる」との回答が53.7%（前回62.2%）で最も多くなっています。

増加する医療費をまかなう方法としては、「税金」（34.9%）、「患者負担」（26.5%）の順で、前回調査（27.6%、5.6%）と比べ大きく増えています。一方、「保険料」は前回の17.5%から10.3%に大幅に減少しています。

「医療費を抑制するには？」という問には、「ジェネリック医薬品の普及」（65.5%、前回60.9%）との回答が最も多く、次いで「特定健診・保健指導等による病気の予防」（43.3%、前回53.5%）となっています。

4. ジェネリック医薬品について（P33 図表 2-4-16～P36 図表 2-4-24）

ジェネリック医薬品の認知度、服用経験とも大幅に上昇しており、効き目や安全性も高い割合で評価されている。服用のきっかけは「薬剤師にすすめられた」が1位。

ジェネリック医薬品の認知度（94.9%）、服用経験（47.4%）とも、前回調査時（74.4%、17.6%）から大きく伸びており、効き目や安全性も高い割合で評価されています。また、ジェネリック医薬品を服用するきっかけとして「薬剤師にすすめられた」（41.0%）が最も多く、逆にジェネリック医薬品を服用しなかった理由として、「薬剤師にすすめられたことがない」が30.6%（前回52.5%）で第2位（第1位は「病気をしないため」）となっています。

5. **明細書発行義務化について** (P39 図表 2-4-31~P41 図表 2-4-36)
「知っている」が 53.5%と過半数に達し、69.7%が必要性を認識している。

明細書発行義務化の認知度は 53.5%であり、明細書を受け取ってよかったこととして「医療費の内訳がわかりやすかった」(57.9%)、「治療・検査等の具体名がわかりやすくなった」(50.8%)が上位にあがっています。また、明細書の必要性については 69.7%が「必要だと思う」と回答しています。

6. **医療保険者への満足度** (P43 図表 2-4-41~P44 図表 2-4-42)
健保組合は共済組合に次いで 2 位。今後、充実を希望するサービスは「医療費の補助」、「医療機関情報の提供」、「ジェネリック軽減額通知」。

各医療保険者への満足度を、回答者が所属する医療保険の管掌別にクロス集計したところ、健保組合加入者の満足度は共済組合に次いで高くなっています。また、充実を希望するサービスについては「医療費の補助」(30.5%、前回 38.6%)、「医療機関情報の提供」(23.3%、前回 39.0%)、「ジェネリック軽減額通知」(22.9%)などが上位を占めています。

7. **介護サービスへの満足度、療養したい場所**
(P14 図表 2-3-1~P23 図表 2-3-17)

現在の介護の状況に対して 62.5%が「不満」。ただし、実際に家族が利用している介護サービスに対しては、6~7割が「満足」。高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所は、「自宅」が 22.6%と最も多く、「病院」は 8.0%と少数。

介護サービスについては、「やや不満」と「かなり不満」を合わせると 62.5%に及んでいます。ただ、実際に家族が利用している介護保険サービスに対しては、居宅系サービス、施設系サービスともに、6割から7割の人が満足していると回答しています。

本人が高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所については、「自宅」(22.6%、前回 33.0%)が最も多く、次いで「老人保健施設」(16.0%、前回 11.5%)、「特別養護老人ホーム」(15.3%、前回 12.0%)となっており、「病院」は少数(8.0%、前回 14.3%)です。

増加する介護費をまかなう方法としては、「税金」(33.4%)、「利用者負担」(27.2%)の順で、「保険料」は 9.3%と低くなっています。

(注) 四角囲み以外の記述で、前回数値の記載がない項目は新規のものである。

医療に関する国民意識調査

報告書

平成23年11月

健康保険組合連合会

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の方法と内容	
1	調査対象	1
2	調査方法	
3	調査内容	1
3	表章上の留意点	1

II 結果の概要

1	回答者の状況	
1	性別・年齢	2
2	所在地	
3	職業	
4	世帯の状況	
5	加入している医療保険	3
2	医療機関のかかり方	
1	最近1年間での受診状況	4
2	休日・夜間における医療機関のかかり方	5
3	医療機関を選ぶときの情報源	7
4	日頃から健康相談や、病気のとときに決まって受診している医師・医療機関の有無	8
5	日頃から健康相談や、病気のとときに決まって受診している医師・医療機関への期待	10
6	医療機関の受診のあり方に関する考え方	11
3	介護サービスについて	
1	介護の状況に対する満足度	14
2	介護保険サービスの認知度	15
3	介護サービスの利用状況	16
4	高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所	18
5	介護保険サービスの拡大・充実に関する要望	20
6	わが国の介護費について	21
7	終末期医療に関する考え方	24
4	医療全般について	
1	現在の医療の満足度・医療機関への要望	25
2	今後のわが国の医療のあり方として希望すること	27
3	わが国の医療費について	29
4	ジェネリック医薬品（後発医薬品）について	33
5	明細書発行義務化について	39
6	整骨院や接骨院、鍼灸院について	42
7	医療保険者からのサービスの満足度・充実への期待	43
5	その他	
1	特定健康診査・特定保健指導の認知度、受診状況	45
2	在宅での看取りの経験の有無・介護保険サービスの利用経験の有無	46
3	その他	46

調査項目一覧	49
--------	----

I 調査の概要

1 調査の目的

- 本調査「医療に関する国民意識調査」は、昨今の医療制度改革の流れの中で、一般国民が現在の医療に対して抱いている様々なニーズ等のデータを広く収集・分析し、今後の医療政策の検討に資する基礎資料を整備することを目的として実施した。

2 調査の方法と内容

1 調査対象

- 楽天リサーチ株式会社が保有する全国のモニターから、都道府県・性別・年齢区分の母集団比率に応じて層化して抽出した2,000人を対象とした。

2 調査方法

- インターネット調査
- 実施時期：平成23年7月
- 回収数：2,000人

3 調査内容

図表 1-2-1 調査内容

区 分	内 容
基本属性項目	年齢、性別、所在地、世帯類型、職業、加入している医療保険 医療機関の受診状況、特定健診・保健指導の認知度・受診状況 等
調査項目	決まって相談・受診する医師、医療機関の状況 現在の医療・介護の満足度 医療・介護サービスに関する要望・意向 医療費・介護費に関する意向 終末期医療に関する意向 ジェネリック医薬品の認知度・服用経験、軽減額通知に関する認知度 明細書発行義務化の認知度、明細書受領経験、明細書の必要性に関する意向 整骨院や接骨院、鍼灸院における施術を受けた経験、保険適用範囲の認知度、 領収書受領経験 医療保険者からのサービスの満足度、充実を期待するサービス 等

3 表章上の留意点

- 本報告書中に示す集計数値については、合計数値と内訳数値の合計が四捨五入の関係で合致しない場合があることに留意されたい。
- なお、今回調査は前回調査と調査手法が異なるため（前回は郵送調査、今回はインターネット調査）、前回調査では「無回答」についても集計していることに加え、サンプル数が異なること等から単純には比較できるものではない。そのため、前回調査のデータについてはあくまでも参考値にとどまるものである。

II 結果の概要

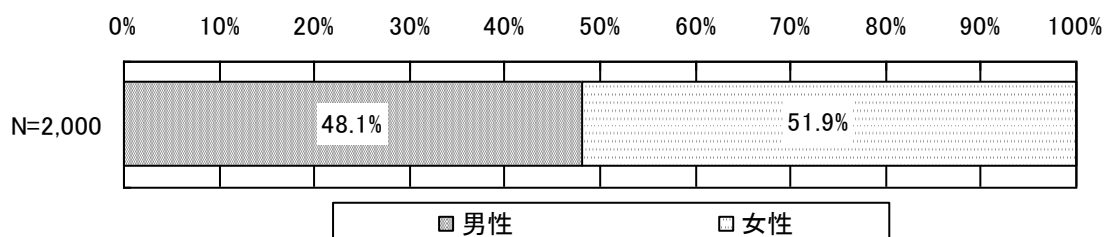
1 回答者の状況

- 本調査の回答者 2,000 人の基本的状況（性別・年齢、所在地、職業、世帯、加入している医療保険）については、図表 2-1-1～図表 2-1-6 の通りである。

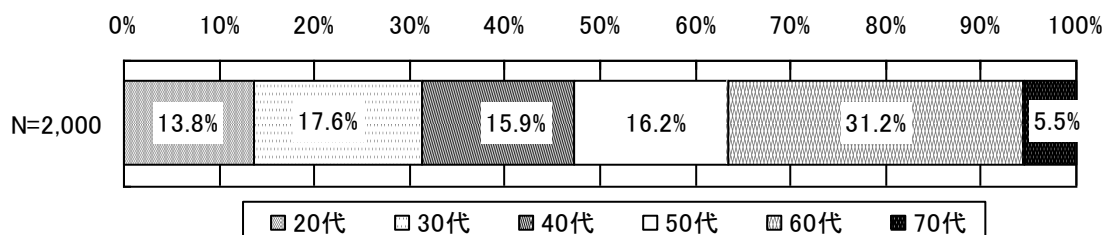
1 性別・年齢

- 年齢 平均 49.1 歳 [N=2,000]
男性 平均 48.6 歳 [N=962] 女性 平均 49.6 歳 [N=1,038]

図表 2-1-1 性別

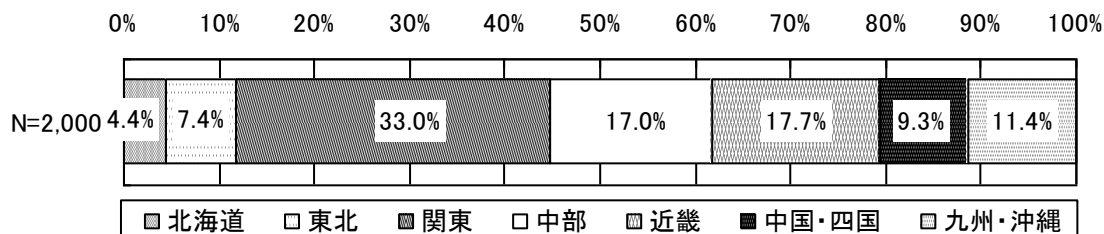


図表 2-1-2 年齢



2 所在地

図表 2-1-3 所在地（地域ブロック）



※北海道以外の地域ブロックに含まれる都府県は以下の通り。

東北：青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東：茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

中部：新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県

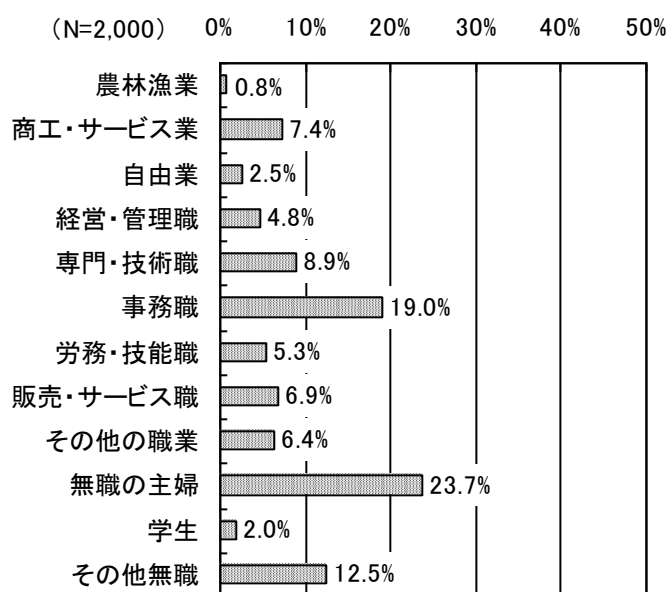
近畿：三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国・四国：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

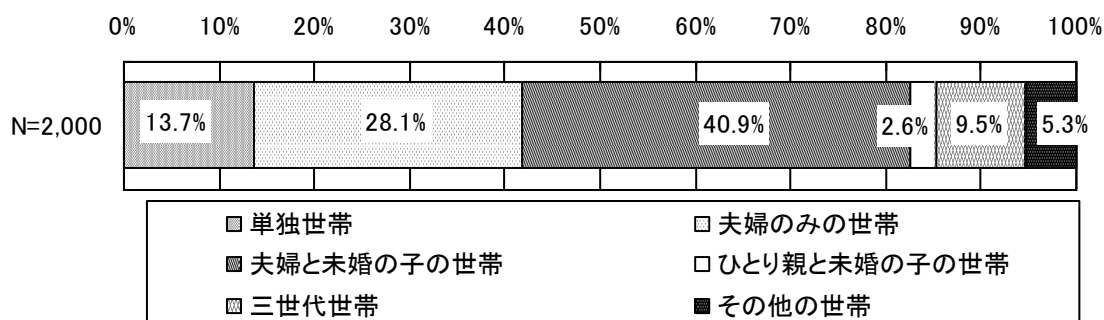
3 職業

図表 2-1-4 職業



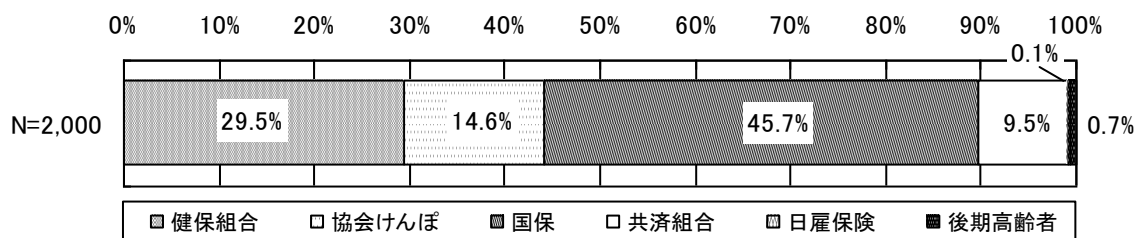
4 世帯の状況

図表 2-1-5 世帯の状況



5 加入している医療保険

図表 2-1-6 加入している医療保険

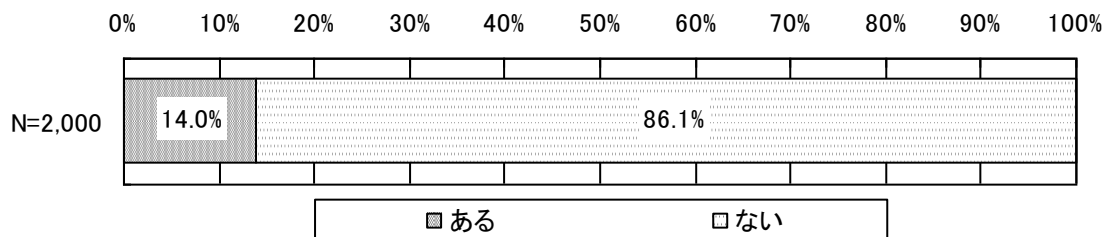


2 医療機関のかかり方

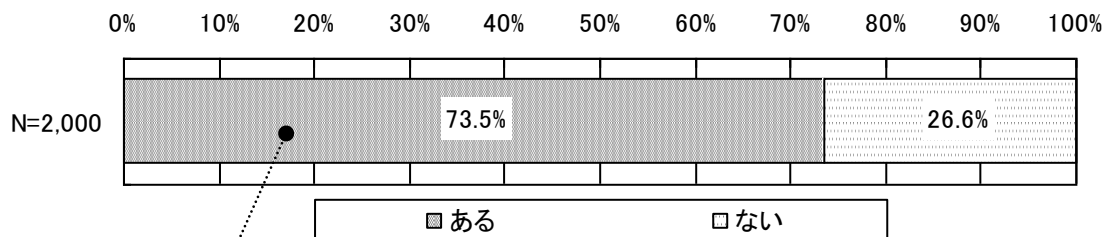
1 最近1年間での受診状況

- 最近1年間での受診状況についてみると、入院では14.0%、外来では73.5%が受診していた。外来受診において、同じ病気やケガで同時期に複数医療機関を受診した経験のある人についてその理由を尋ねたところ、「先に受診していた医療機関・医師からの紹介で、他院で専門的な検査等を受けた」との回答が54.2%と、前回調査時の43.7%に比べ10.5ポイント増となっている。一方、「先に受診していた医療機関・医師の診察内容等に不満があり、自分の判断で他院を受診した」との回答が36.6%と、前回調査時の40.2%と比較して3.6ポイント減となっている。これらの結果から、いわゆる「はしご受診」が少なくなっていることがうかがわれる。

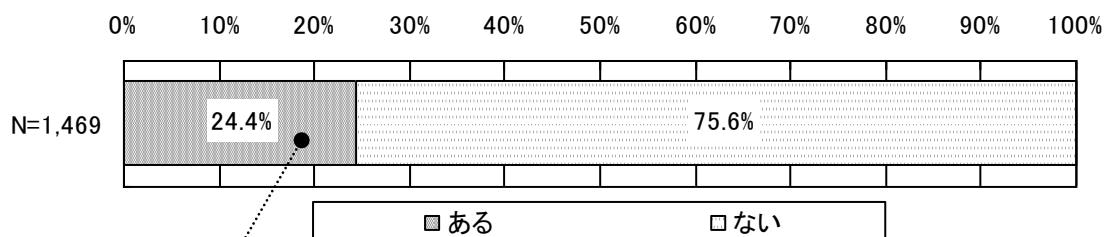
図表 2-2-1 最近1年間での入院の有無



図表 2-2-2 最近1年間での外来受診の有無



図表 2-2-3 同じ病気やケガで同時期に複数医療機関を受診した経験の有無



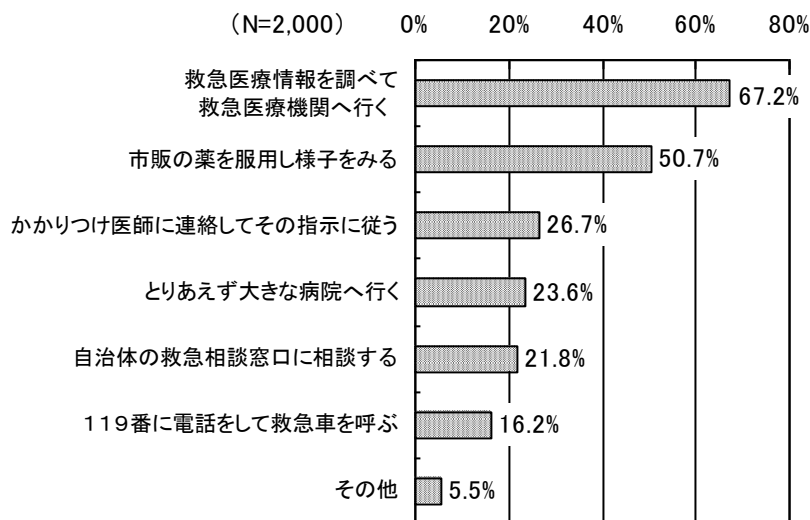
図表 2-2-4 同じ病気やケガで同時期に複数医療機関を受診した理由

[N=358]	件数	割合
先に受診していた医療機関・医師からの紹介で、他院で専門的な検査等を受けた	194	54.2%
先に受診していた医療機関・医師の診察内容等に不満があり、自分の判断で他院を受診した	131	36.6%
先に受診していた医療機関・医師からの紹介で、他院のセカンドオピニオン外来を受診した	32	8.9%
その他	29	8.1%

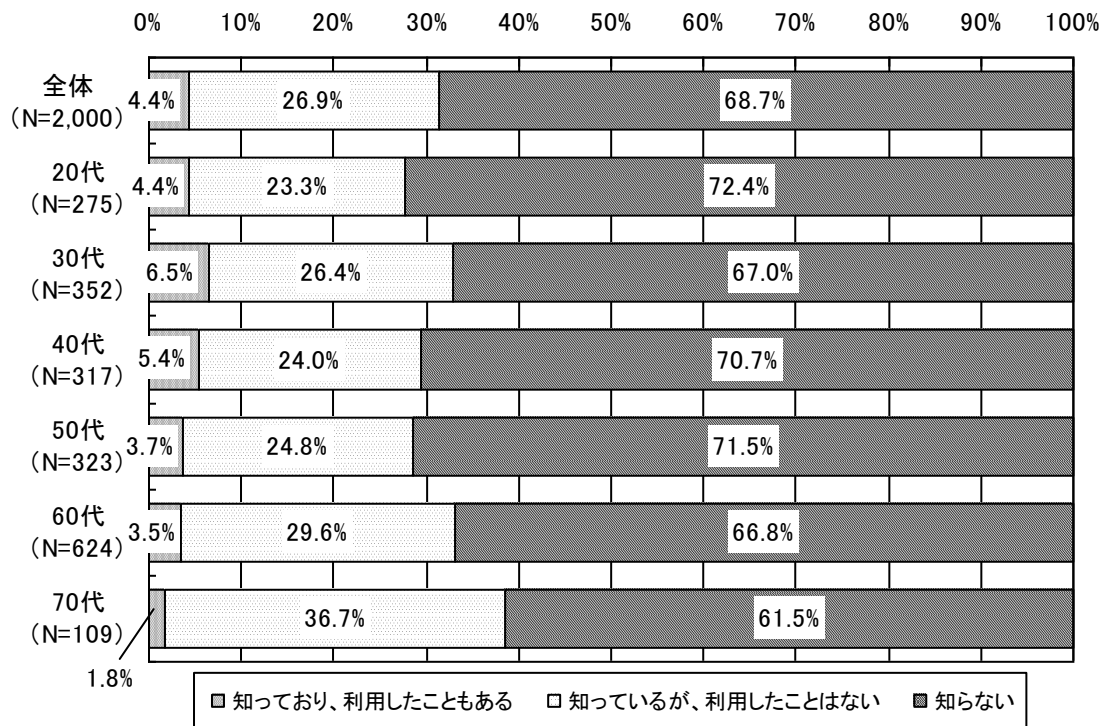
2 休日・夜間における医療機関のかかり方

- 深夜や休日などに具合が悪くなったときの対応として、「救急医療情報を調べて救急医療機関へ行く」が67.2%（前回40.0%）、「市販の薬を服用し様子を見る」が50.7%（前回36.8%）と、前回調査と比較して大幅に増加している。まずは自らで情報を調べ、様子を見るというように受診行動が変化したのではないかと推測される。
- また、小児救急電話相談（#8000）について「知らない」との回答が68.7%となっており、周知活動の強化が求められる。

図表 2-2-5 深夜や休日などに具合が悪くなったときの対応（複数回答）

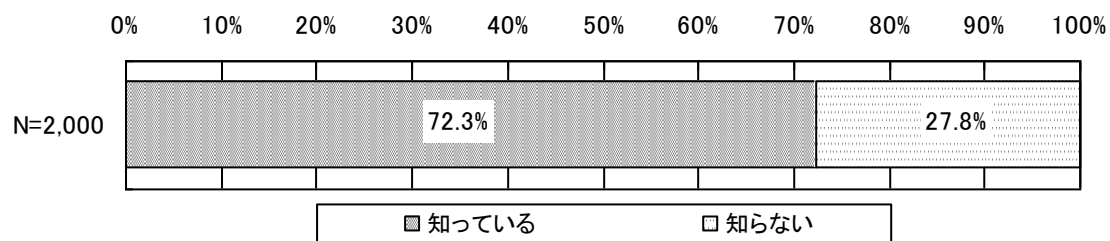


図表 2-2-6 小児救急電話相談（#8000）の認知度；年齢階層別



- 軽症患者の救急医療機関への受診が増加し、病院勤務医の負担が過重となっている現状について「知っている」との回答割合が72.3%に及んでいる。

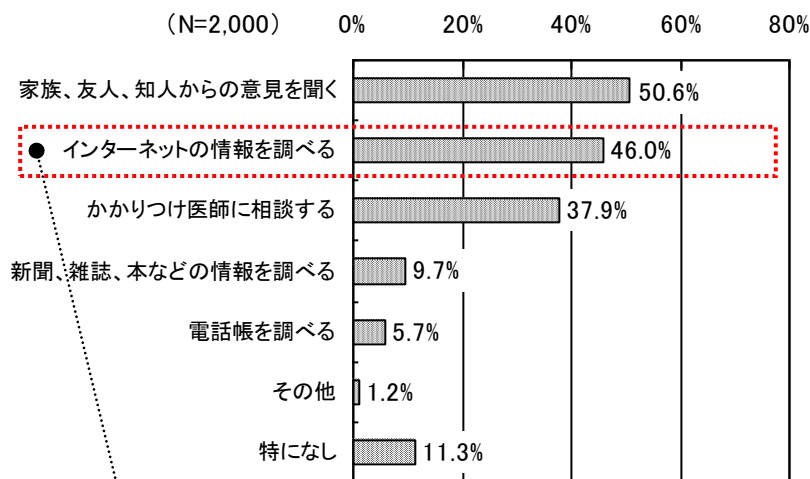
図表 2-2-7 軽症患者の救急医療機関への受診が増加し、
病院勤務医の負担が過重となっている現状の認知度



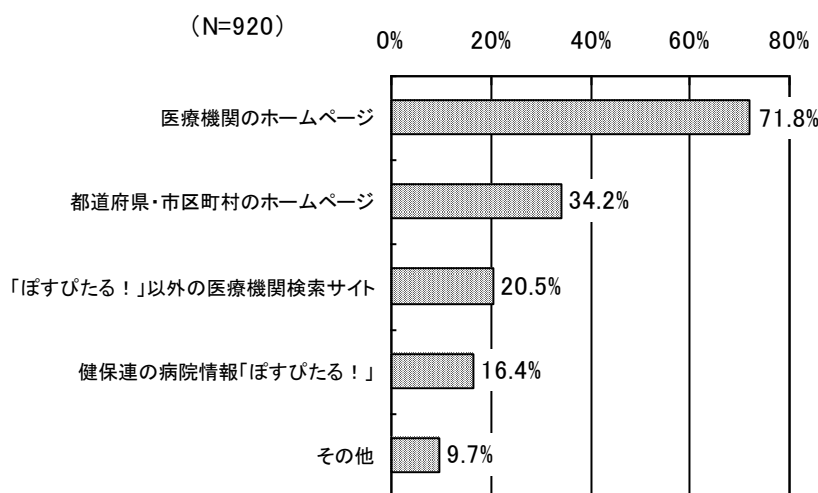
3 医療機関を選ぶときの情報源

○ 医療機関を選ぶときの情報源としては「家族、友人、知人からの意見を聞く」50.6%が最も多く、次いで「インターネットの情報を調べる」46.0%、「かかりつけ医師に相談する」37.9%などとなっている。

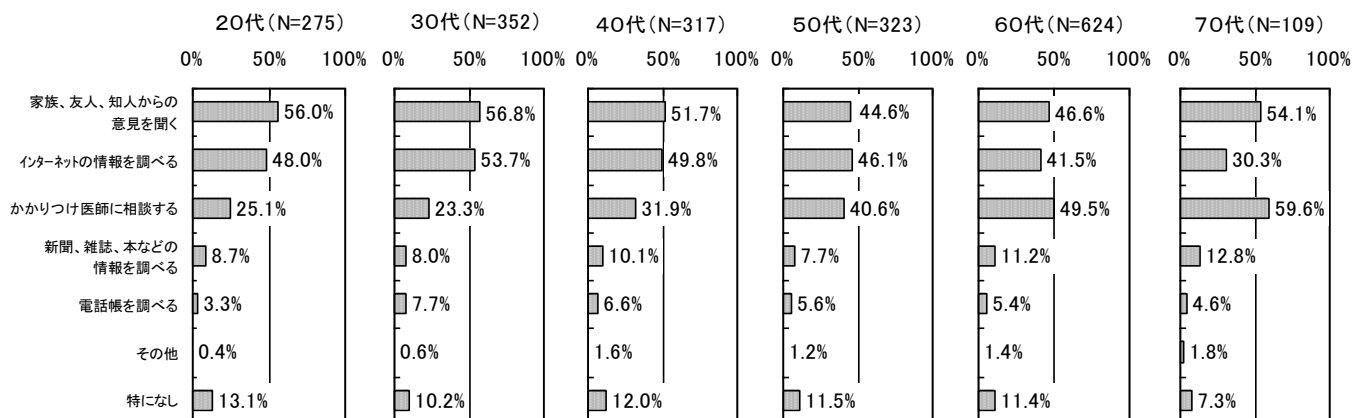
図表 2-2-8 医療機関を選ぶときの情報源（複数回答）



図表 2-2-9 医療機関を選ぶときに検索しているインターネットサイト（複数回答）



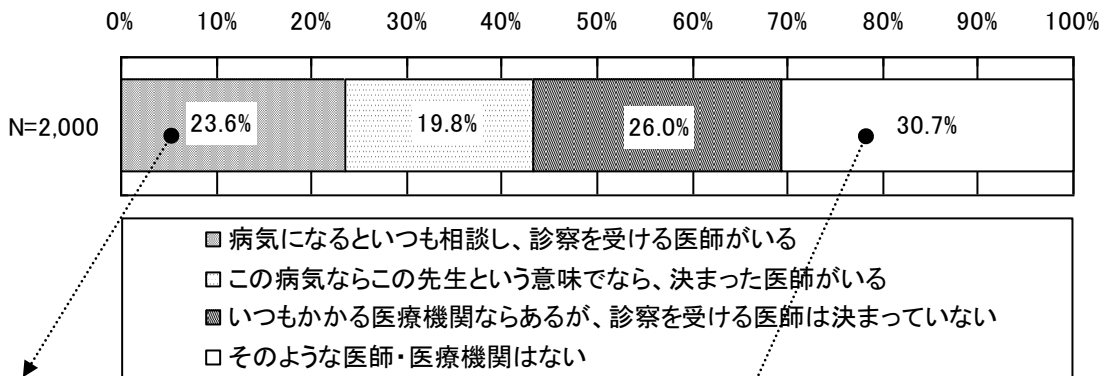
図表 2-2-10 医療機関を選ぶときの情報源（複数回答）；年齢階層別



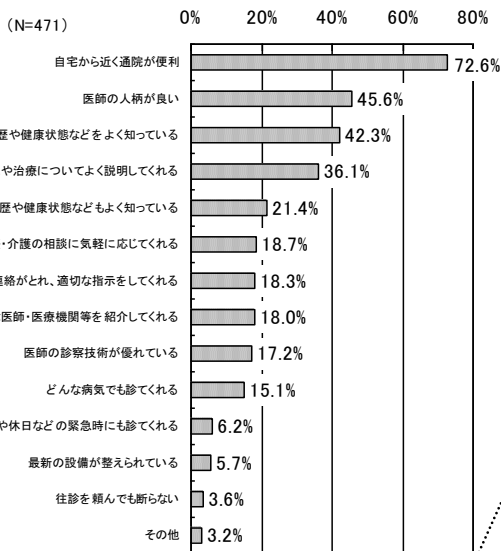
4 日頃から健康相談や、病気のとくに決まって受診している医師・医療機関の有無

○ 「日頃から決まった医師ないしは医療機関を受診している」人は 69.4%に達している。また、病気になるといつも相談する医師がいる人の 88.3%が一般診療所を受診している。

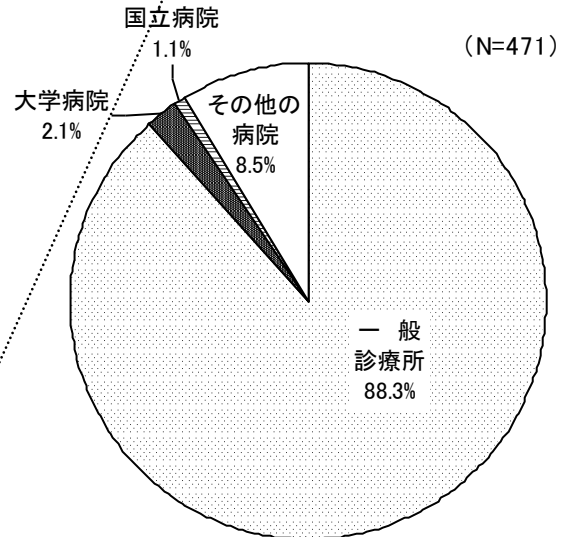
図表 2-2-11 日頃から相談・受診している医師・医療機関の有無



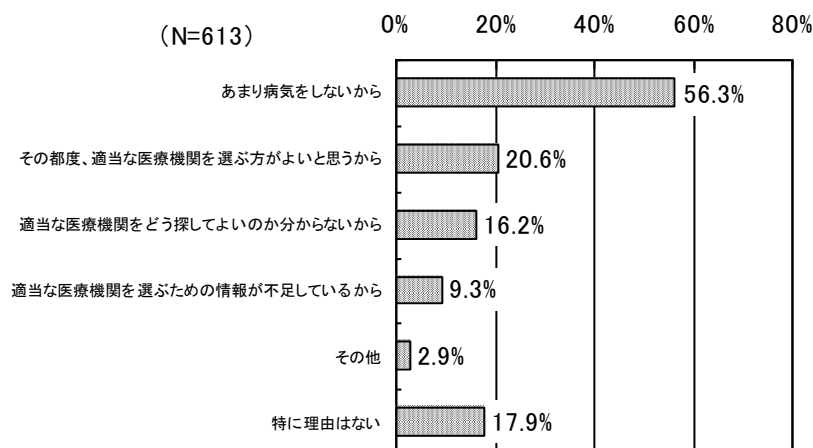
図表 2-2-12 その医師に決めた理由（複数回答）



図表 2-2-13 その医師のいる医療機関

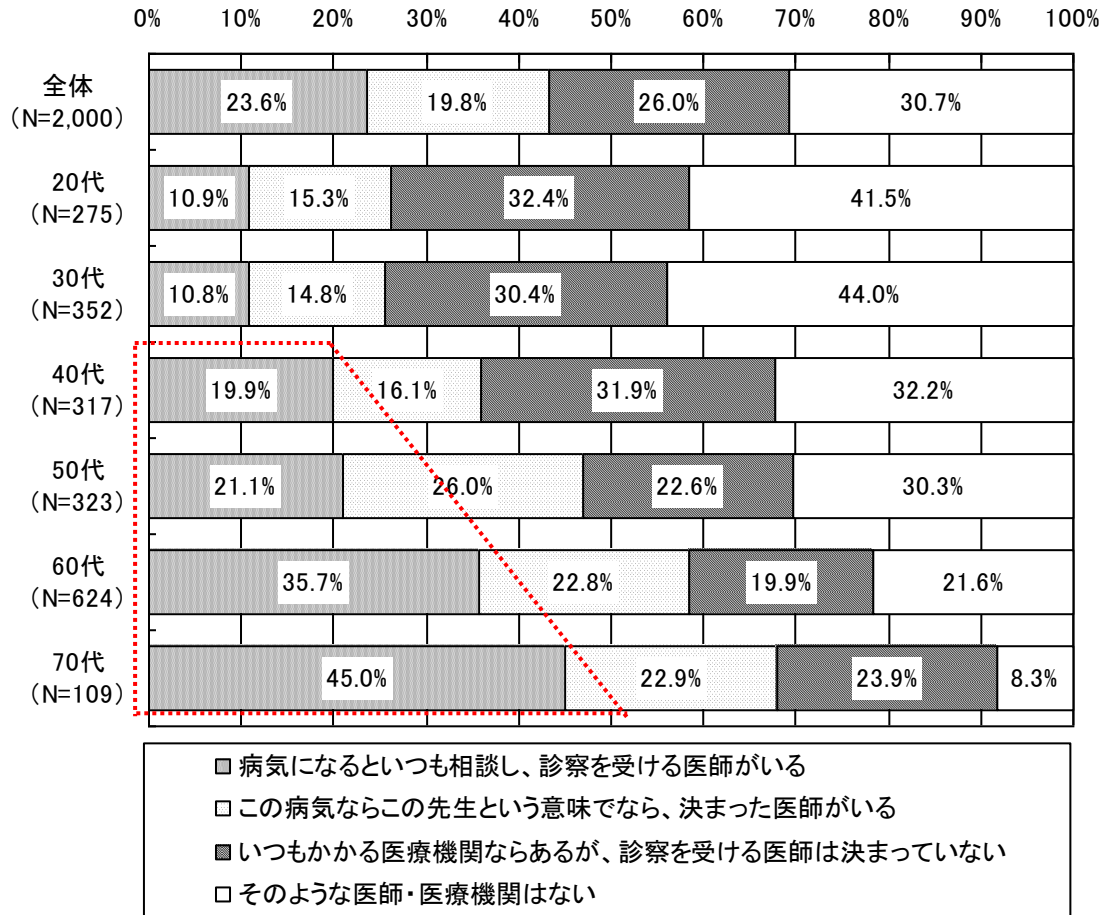


図表 2-2-14 決まった医師・医療機関をもたない理由（複数回答）



○ 日頃から相談・受診している医師・医療機関の有無について年齢階層別にみると、「病気になるといつも相談し、診察を受ける医師がいる」人は、40代以上については年齢階層が上がるとともにその割合が増加傾向にあることがわかる。

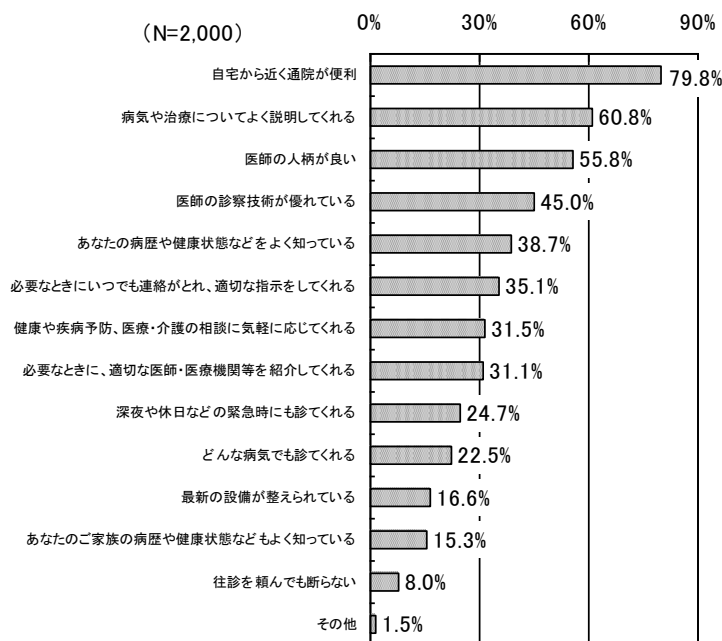
図表 2-2-15 日頃から相談・受診している医師・医療機関の有無；年齢階層別



5 日頃から健康相談や、病気のとくに決まって受診している医師・医療機関への期待

- 日頃から健康相談や、病気のとくに決まって受診している医師・医療機関へ期待することとしては、「自宅から近く通院が便利」79.8%が最も多くなっている。

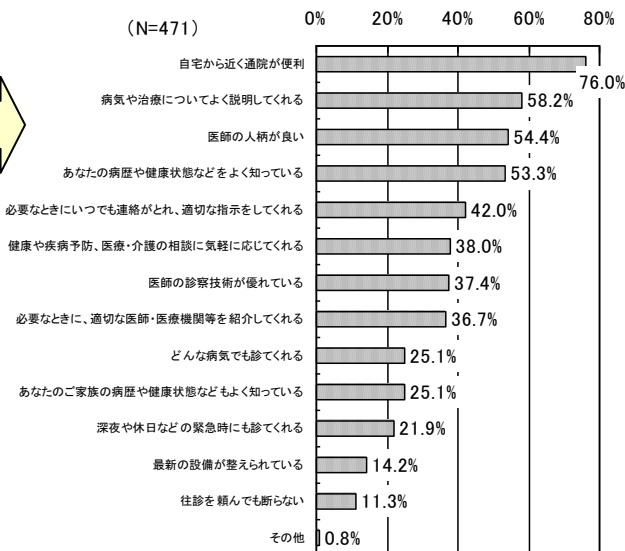
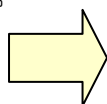
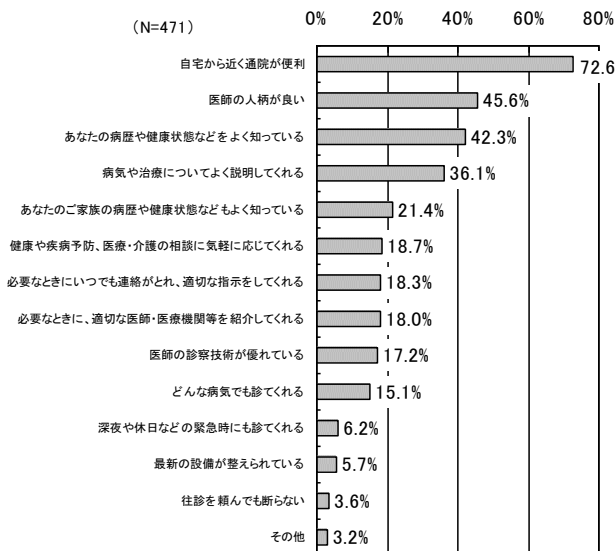
図表 2-2-16 日頃から相談・受診している医師・医療機関へ期待すること（複数回答）



[参考] 日頃から相談・受診している医師がいる人：その医師に [決めた理由] と [期待すること]

図表 2-2-17 その医師に決めた理由(複数回答)[再掲]

図表 2-2-18 期待すること(複数回答)



図表 2-2-19 [その医師に決めた理由] よりも [期待すること] において順位を上げたもの

	決めた理由	期待すること
病気や治療についてよく説明してくれる	4位	2位
必要なときにいつでも連絡がとれ、適切な指示をしてくれる	7位	5位
医師の診察技術が優れている	9位	7位
どんな病気でも診てくれる	10位	9位

6 医療機関の受診のあり方に関する考え方

○ 医療機関の受診のあり方に関するAとBの2つの考え方の賛否について回答を求めた。

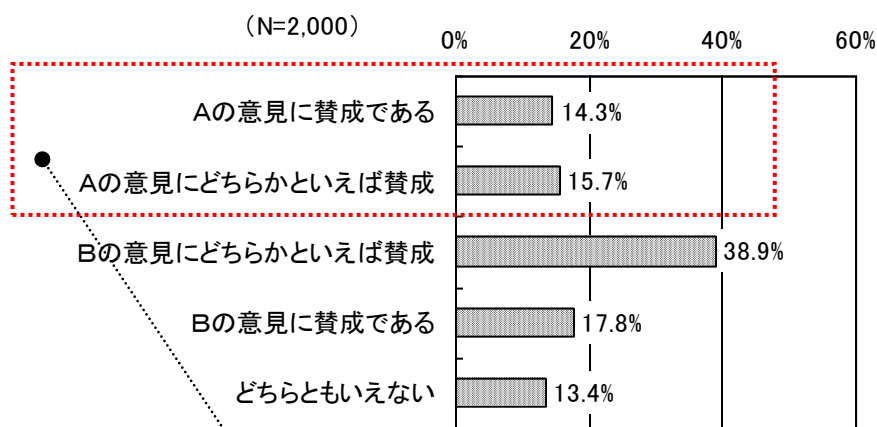
A. 病気の症状の程度に関わらず、病院と診療所の区別なく自分の選んだ医療機関を受診する

B. 最初に決まった医師を受診し、その医師の判断で、必要に応じて病院等の専門医療機関を受診する

その結果、「Aの意見に賛成」と「Aの意見にどちらかといえば賛成」が合わせて30.0%（前回33.0%）、「Bの意見に賛成」と「Bの意見にどちらかといえば賛成」が合わせて56.7%（前回53.0%）、「どちらともいえない」が13.4%（前回9.0%）となった。

○ 「Aの意見に賛成」と「Aの意見にどちらかといえば賛成」の回答者にその理由を尋ねたところ「その都度、そのときの症状に応じて専門医に診察をしてほしいから」が74.6%であった。

図表 2-2-20 医療機関の受診のあり方に関する考え方



図表 2-2-21 Aの意見に賛成の理由（複数回答）

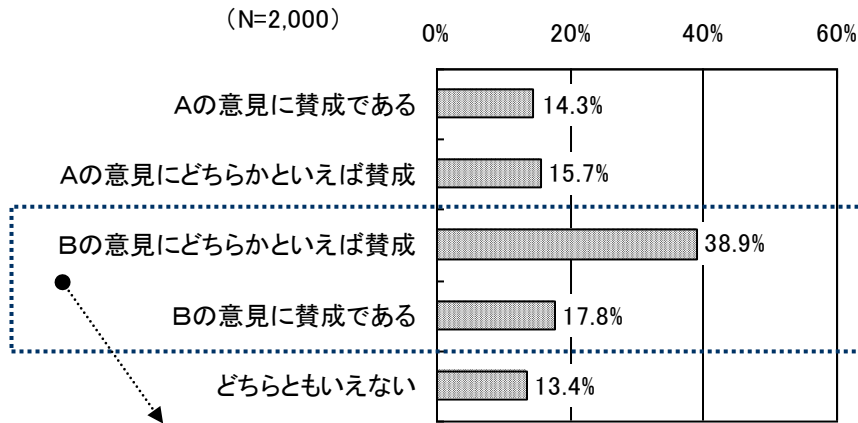
[N=599]	件数	割合
その都度、そのときの症状に応じて専門医に診察をしてほしいから	447	74.6%
いつも高度な医療機能をもつ大病院を受診したいから	114	19.0%
いつも同じ医師の診断ばかり受けていては不安だから	109	18.2%
その他	18	3.0%
わからない	27	4.5%

A. 病気の症状の程度に関わらず、病院と診療所の区別なく自分の選んだ医療機関を受診する

B. 最初に決まった医師を受診し、その医師の判断で、必要に応じて病院等の専門医療機関を受診する

- また、「Bの意見に賛成」と「Bの意見にどちらかといえば賛成」の回答者にその理由を尋ねたところ「自分だけで、そのときの症状に応じて適切な医療機関を選ぶことが難しいから」58.2%、「まずは、自分のことをよく知っている医師に受診した方が安心だから」57.8%となっている。

図表 2-2-22 医療機関の受診のあり方に関する考え方 [再掲]

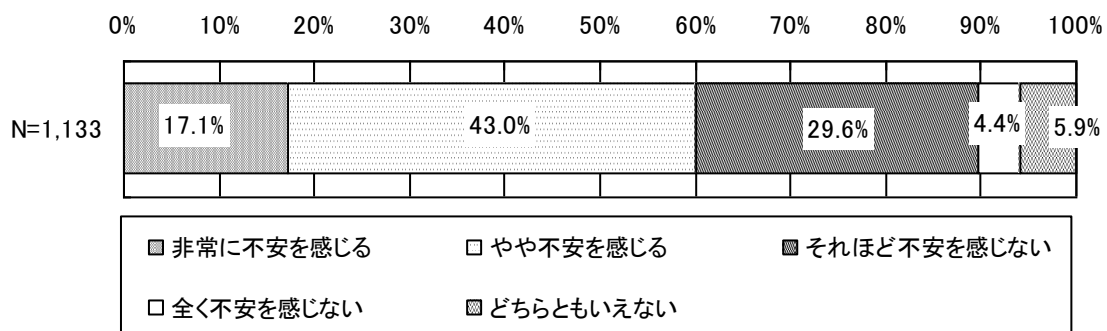


図表 2-2-23 Bの意見に賛成の理由 (複数回答)

[N=1,133]	件数	割合
自分だけで、そのときの症状に応じて適切な医療機関を選ぶことが難しいから	659	58.2%
まずは、自分のことをよく知っている医師に受診した方が安心だから	655	57.8%
医師によって診断結果が異なるのが不安だから	128	11.3%
その他	30	2.6%
わからない	16	1.4%

- さらに、例えば、一般診療所の医師を事前に選んで登録しておき、体に何か不調を感じたときには、最初にその医師を必ず受診し、救急以外では病院を自由に受診できないといった制度については、不安を感じる人が60.1%となっている（「非常に不安を感じる」17.1%、「やや不安を感じる」43.0%）。ただし、「非常に不安を感じる」は、前回調査（41.6%）と比較して大幅に減少し、「それほど不安を感じない」29.6%（前回9.6%）、「全く不安を感じない」4.4%（前回2.1%）が増加している。こうしたことから、かかりつけ医を持つことの意義に対する国民の認識は高まっており、かかりつけ医機能を強化することによって、診療所と病院の機能分化を図っていく環境が整いつつあるのではないかと考えられる。

図表 2-2-24 上記の想定の場合の感想

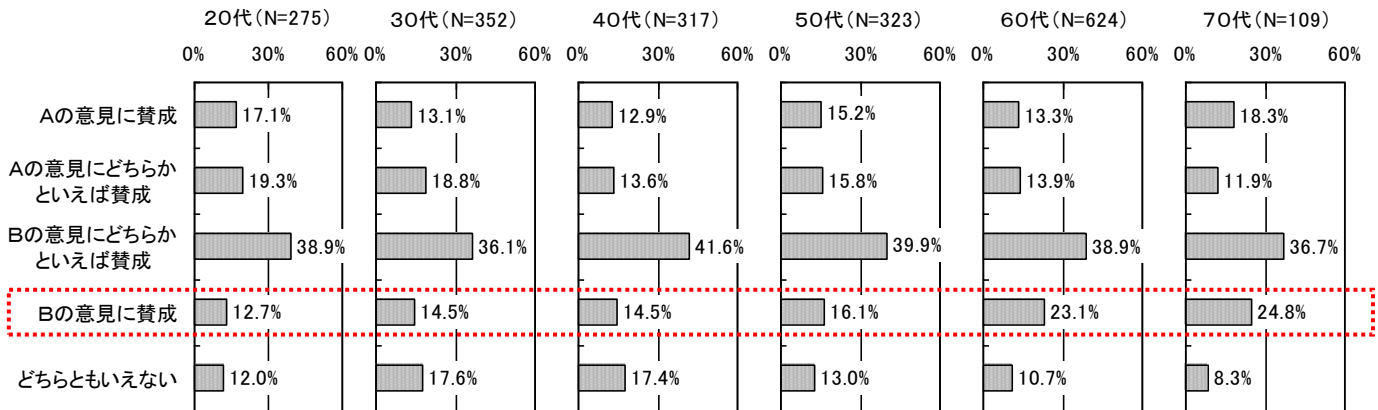


A. 病気の症状の程度に関わらず、病院と診療所の区別なく自分の選んだ医療機関を受診する

B. 最初に決まった医師を受診し、その医師の判断で、必要に応じて病院等の専門医療機関を受診する

- AとBの2つの考え方の賛否について年齢階層別にみると、いずれの年齢階層においても「Bの意見にどちらかといえば賛成」との回答が3割を超えている。
- また、40代以上については年齢階層が上がるとともにBの意見に賛成の回答割合が増加傾向にあることがわかる。

図表 2-2-25 医療機関の受診のあり方に関する考え方；年齢階層別

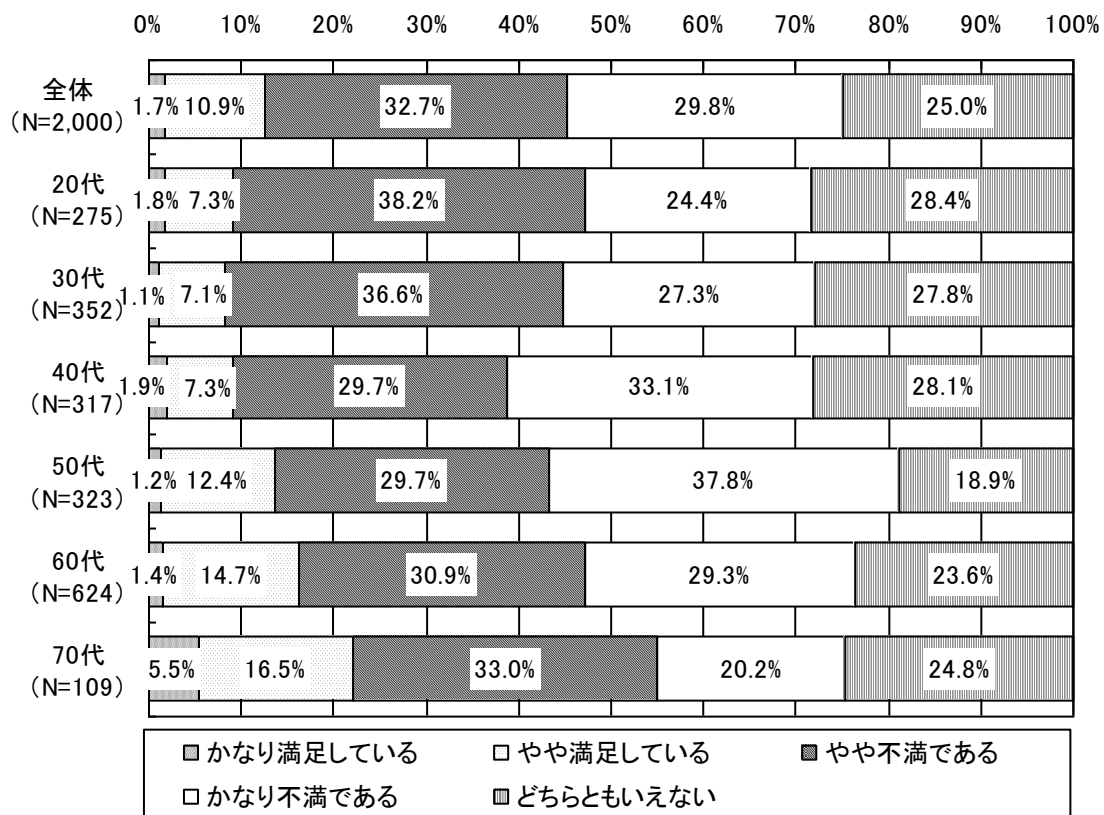


3 介護サービスについて

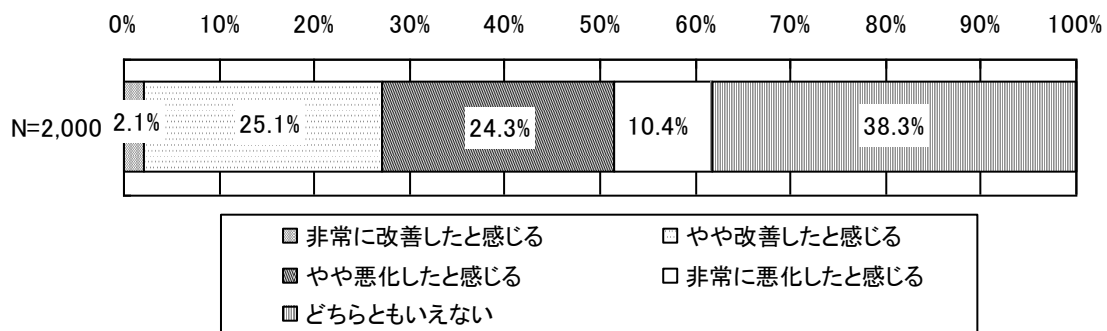
1 介護の状況に対する満足度

- 現在の介護の状況に対する満足度についてみると、「かなり満足している」と「やや満足している」を合わせると 12.6%、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると 62.5%、「どちらともいえない」が 25.0%であった。ただし、年齢が上がるにつれて「やや満足している」の回答割合が増加する傾向にあった。
- また、介護保険制度が導入されて 10 年以上が経過したところであるが、わが国の介護を取り巻く環境に関する意向についてみると、「非常に改善したと感じる」と「やや改善したと感じる」を合わせると 27.2%、「非常に悪化したと感じる」と「やや悪化したと感じる」を合わせると 34.7%、「どちらともいえない」が 38.3%と意見が分かれる結果となった。

図表 2-3-1 現在の介護の満足度；年齢階層別



図表 2-3-2 介護保険制度導入後のわが国の介護を取り巻く環境に関する意向



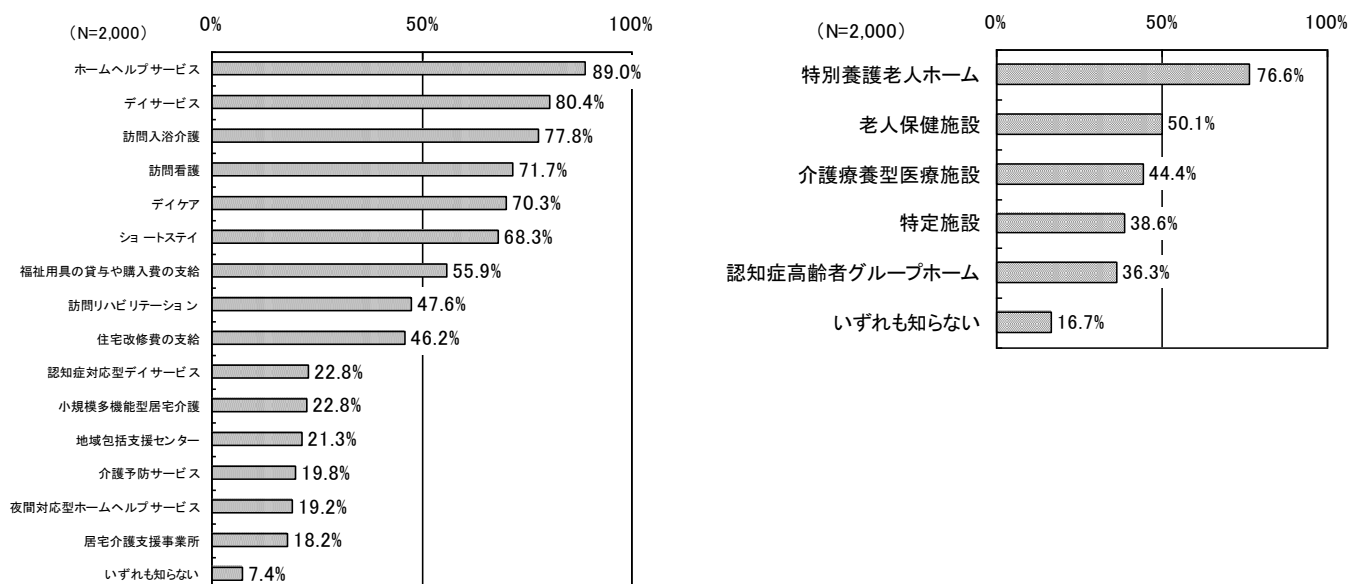
2 介護保険サービスの認知度

- 介護保険サービスの認知度についてみると、居宅サービスでは「ホームヘルプサービス」89.0%が最も高く、次いで「デイサービス」80.4%、「訪問入浴介護」77.8%などとなっている。また、施設サービスでは「特別養護老人ホーム」76.6%が最も高く、「老人保健施設」50.1%、「介護療養型医療施設」44.4%などとなっている。
- また、居宅サービスの中で「認知症対応型デイサービス」等の認知度が低い。さらに、新たに導入される24時間地域巡回型訪問サービスを「知っている」のはわずか11.7%である。今後、地域包括ケアシステムが整備されていくなかで、要介護者がニーズに応じたサービスを選択できるよう、情報提供をさらに強化することが求められる。

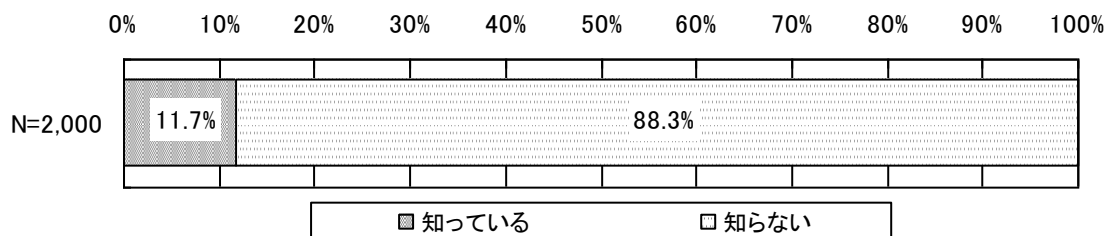
図表 2-3-3 介護保険サービス等の認知度（複数回答）

【居宅サービス】

【施設サービス】



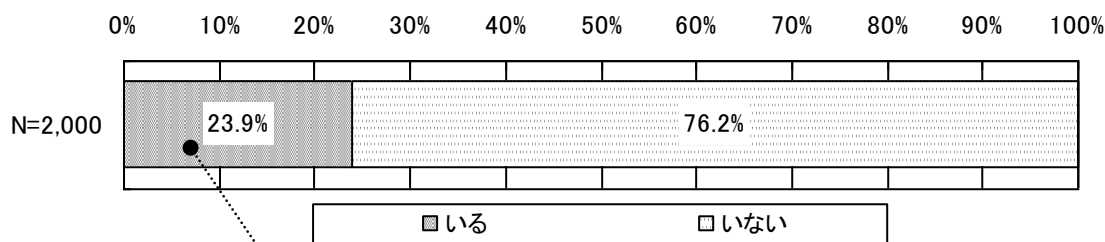
図表 2-3-4 24時間地域巡回型訪問サービスの認知度



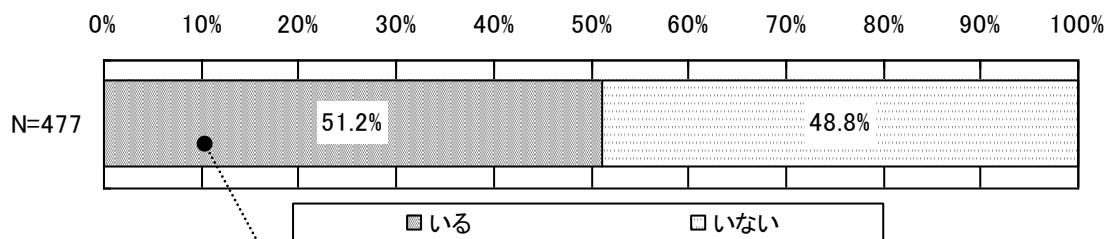
3 介護サービスの利用状況

○ 介護が必要な家族が「いる」のは23.9%で、介護保険サービスを利用している家族が「いる」のは51.2%、「いない」は48.8%となっている。家族が利用している介護保険サービスに対する満足度については、居宅サービス、介護保険施設、認知症高齢者グループホーム、特定施設ともに6割以上の人が満足していると回答している。

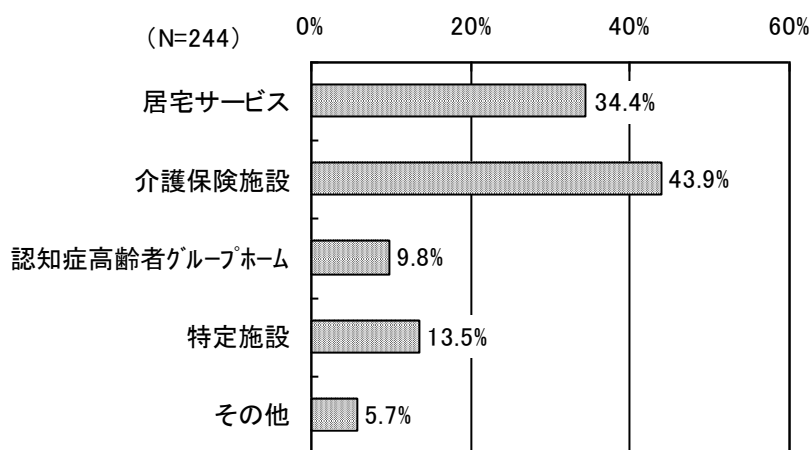
図表 2-3-5 介護が必要な家族の有無



図表 2-3-6 介護保険サービスを利用している家族の有無

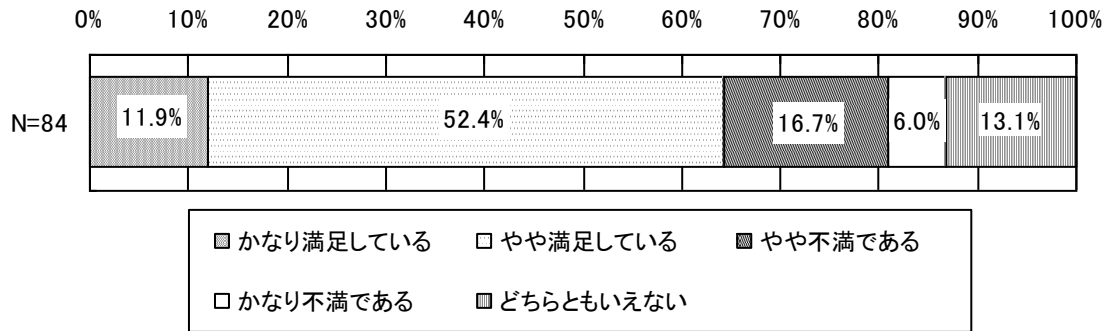


図表 2-3-7 利用している介護保険サービス（複数回答）

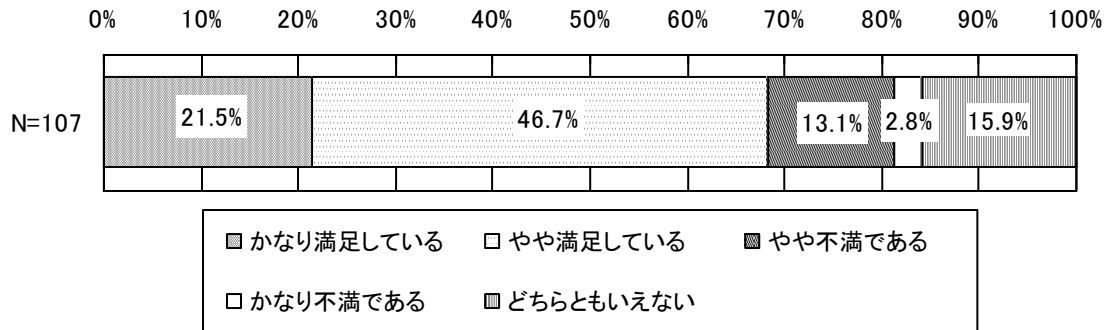


図表 2-3-8 介護保険サービスの満足度（家族が利用している人のみ）

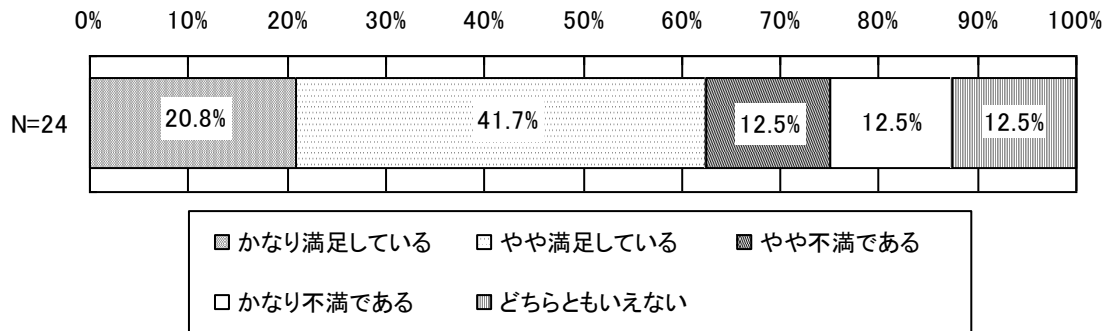
(1) 居宅サービス



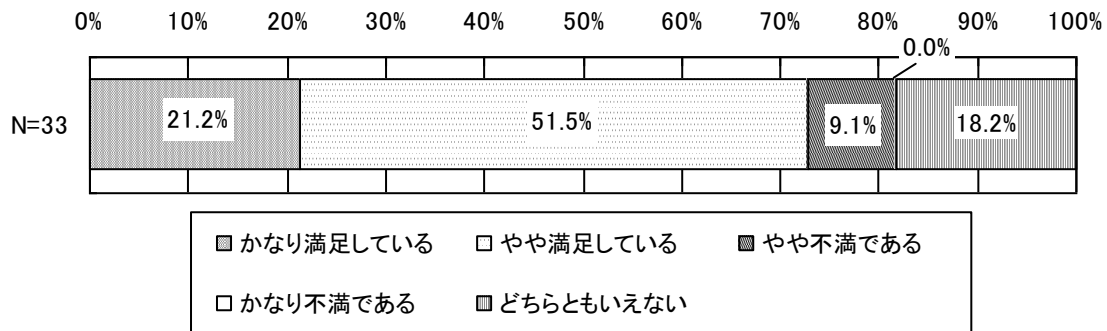
(2) 介護保険施設



(3) 認知症高齢者グループホーム



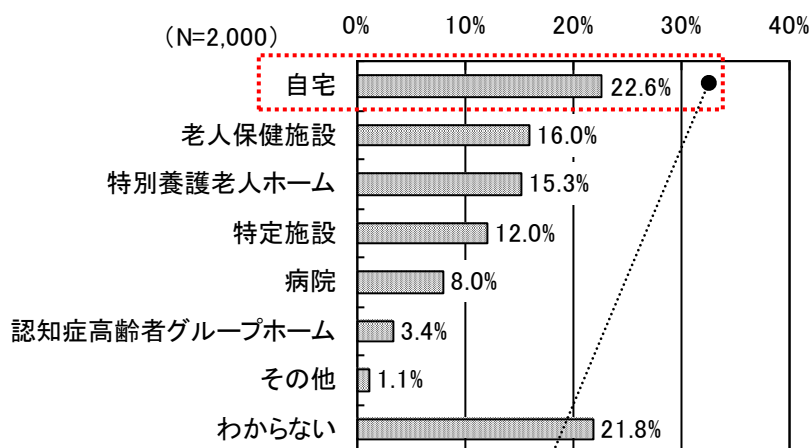
(4) 特定施設



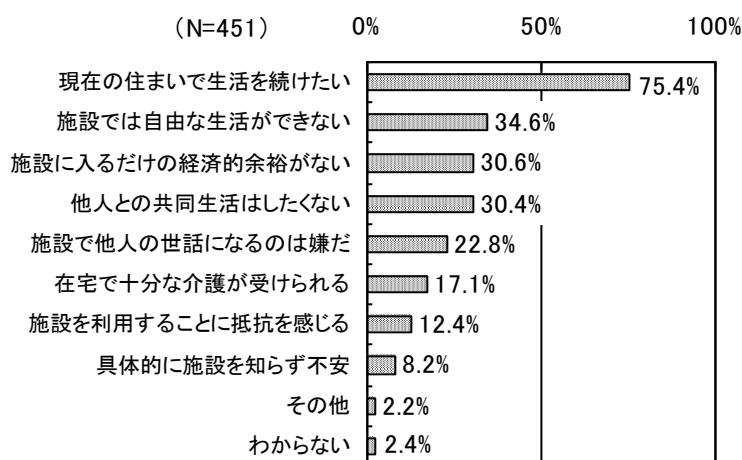
4 高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所

- 本人が高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所についてみると、「自宅」22.6%が最も多く、次いで「老人保健施設」16.0%、「特別養護老人ホーム」15.3%などとなっている。前回調査と比較して、「自宅」（前回 33.0%）や「病院」（前回 14.3%）を希望する回答が減少し、「老人保健施設」（前回 11.5%）や「特別養護老人ホーム」（前回 12.0%）を希望する回答が増加している。

図表 2-3-9 本人が高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所

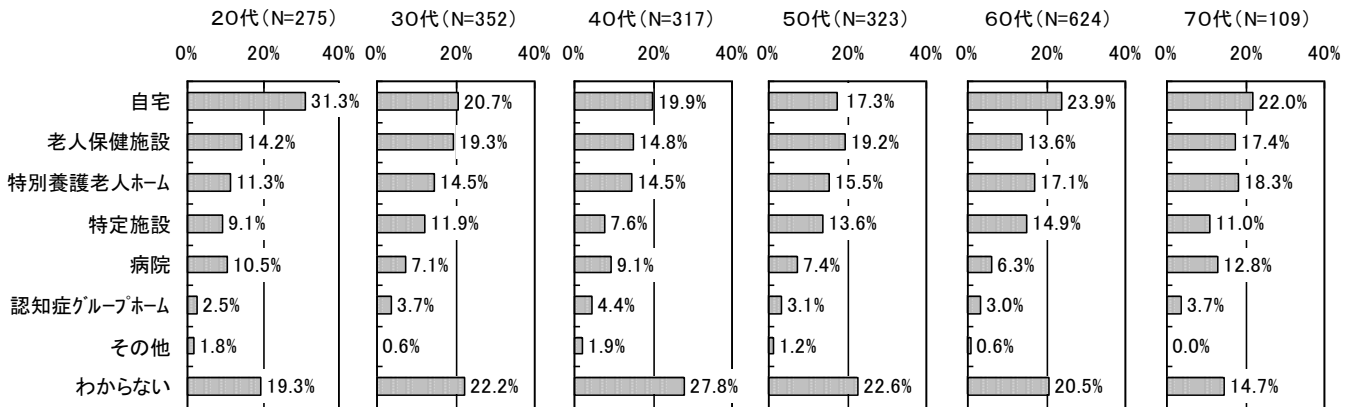


図表 2-3-10 療養場所として自宅を希望する理由（複数回答）



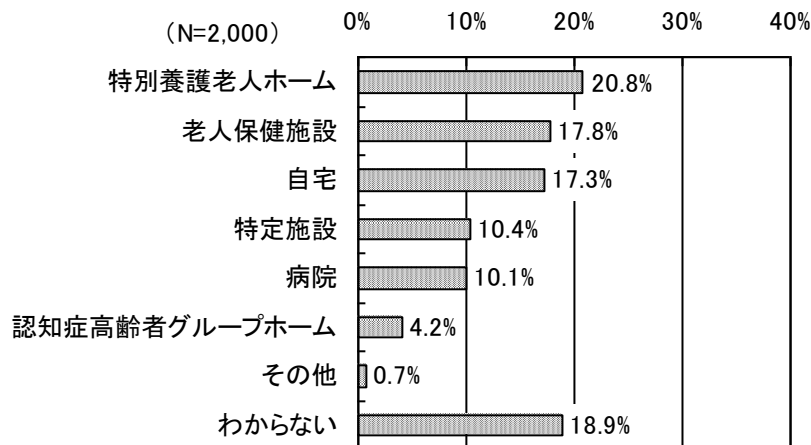
- また、全体として「病院」を希望する人が減少している中で、特に60代・70代が大幅に減少している（前回は60代以上で21.3%）。さらに、前回調査では選択肢になかった「特定施設」を希望する回答については、30代、50代、60代、70代で1割以上に及んでいる。

図表 2-3-11 本人が高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所；年齢階層別



- なお、家族が高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所についてみると、「特別養護老人ホーム」20.8%が最も多く、次いで「老人保健施設」17.8%、「自宅」17.3%などとなっている。

図表 2-3-12 家族が高齢期に寝たきりになった場合に希望する療養場所



5 介護保険サービスの拡大・充実に関する要望

- 介護保険サービスの拡大・充実に関する要望についてみると、「特別養護老人ホームや老人保健施設等の施設の整備を進めてほしい」45.7%が最も多く、次いで「ホームヘルプや訪問看護等の訪問サービスの整備を進めてほしい」27.5%などとなっている。
- また、療養病床削減に関する意向についてみると、「医療スタッフが多くいる医療機関で長期療養できる病床が削減されることに不安を感じる」48.4%が最も多くなっているが、「看護職員が多くいる老人保健施設等や特定施設の整備が進むのであれば削減してよいと思う」24.3%、「往診や訪問看護等の在宅医療の整備が進むのであれば削減してよいと思う」11.0%などの削減に対して、肯定的な意見も35.3%となっている。

図表 2-3-13 介護保険サービスの拡大・充実に関する要望

	件数	割合
特別養護老人ホームや老人保健施設等の施設の整備を進めてほしい	914	45.7%
ホームヘルプや訪問看護等の訪問サービスの整備を進めてほしい	550	27.5%
認知症高齢者グループホームや特定施設等の整備を進めてほしい	224	11.2%
その他	51	2.6%
特になし	261	13.1%
合計	2,000	100.0%

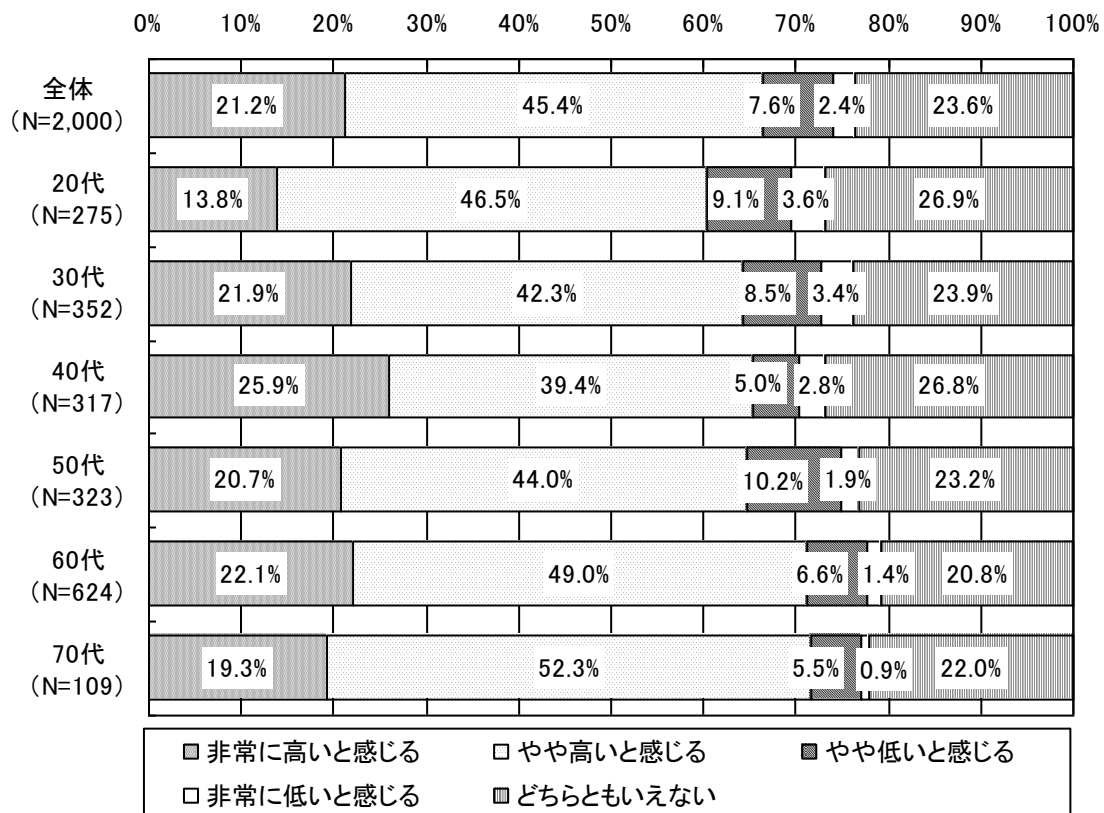
図表 2-3-14 療養病床削減に関する意向

	件数	割合
医療スタッフが多くいる医療機関で長期療養できる病床が削減されることに不安を感じる	967	48.4%
看護職員が多くいる老人保健施設等や特定施設の整備が進むのであれば削減してよいと思う	486	24.3%
往診や訪問看護等の在宅医療の整備が進むのであれば削減してよいと思う	220	11.0%
その他	25	1.3%
特になし	302	15.1%
合計	2,000	100.0%

6 わが国の介護費について

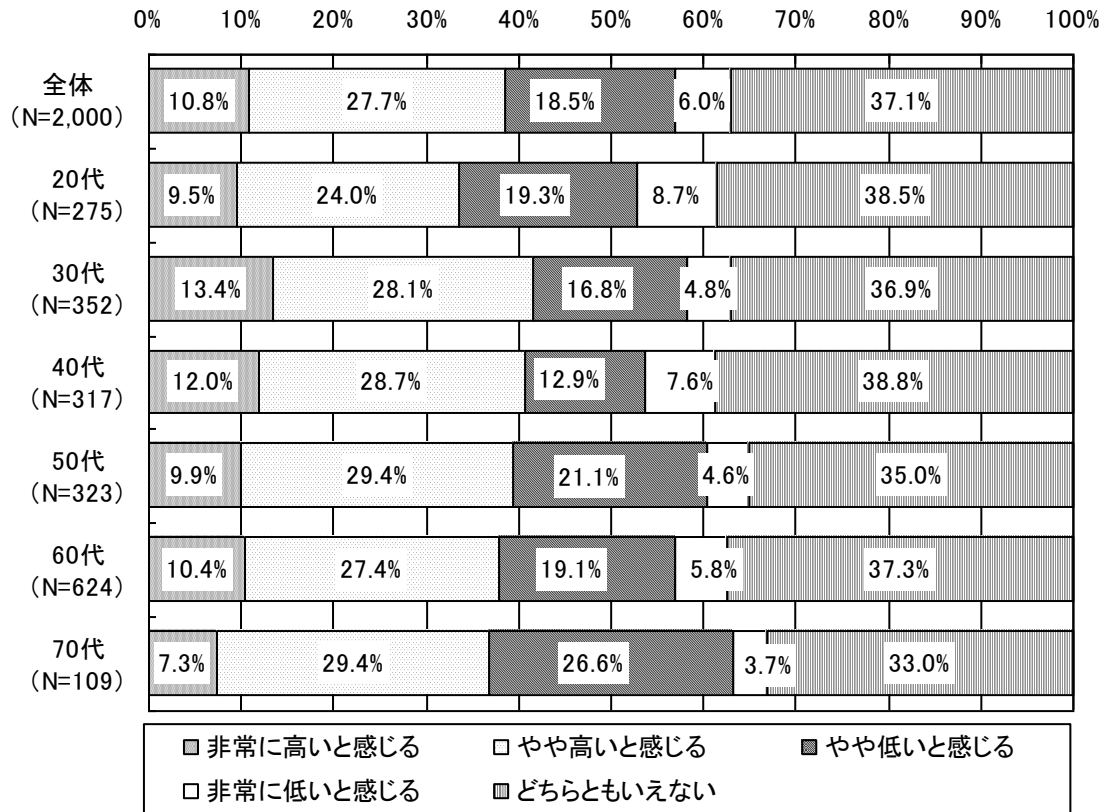
- 介護費の負担感についてみると、介護保険料については高負担感を持っているが、自己負担についてはそれほどの負担感を感じていないことがうかがわれる。
- まず、介護保険の保険料の負担感についてみると、「非常に高いと感じる」と「やや高いと感じる」を合わせると 66.6%、「非常に低いと感じる」と「やや低いと感じる」を合わせると 10.0%、「どちらともいえない」が 23.6%となっている。
- 年齢階層別にみると、40代における「非常に高いと感じる」との回答割合が 25.9%と、他の年齢階層に比較して最も高くなっている。また、60代、70代では「非常に高いと感じる」と「やや高いと感じる」を合わせた割合が7割を超えている。

図表 2-3-15 介護保険の保険料の負担感；年齢階層別



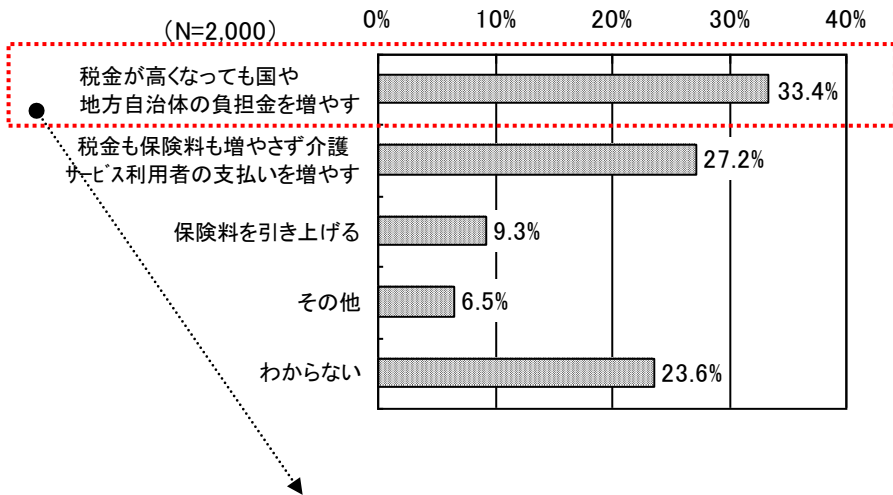
- 次に、介護保険の自己負担の負担感についてみると、「非常に高いと感じる」と「やや高いと感じる」を合わせると 38.5%、「非常に低いと感じる」と「やや低いと感じる」を合わせると 24.5%、「どちらともいえない」が 37.1%と意見が分かれる結果となった。
- ただし、年齢区分別にみると、30代以降では年齢が上がるにつれて「非常に高いと感じる」と「やや高いと感じる」を合わせた回答割合が減少する傾向にあることがわかる。

図表 2-3-16 介護保険の自己負担の負担感；年齢階層別

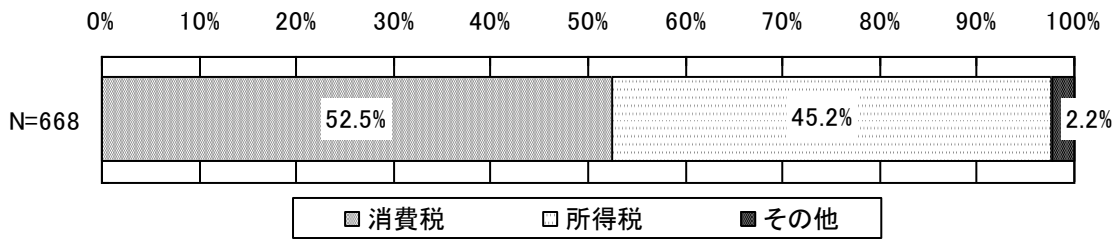


- わが国の増加する介護費をまかなう方法として望ましいものとしては、「税金が高くなっても国や地方自治体の負担金を増やす」33.4%が最も多く、次いで「税金も保険料も増やさず介護サービス利用者の支払いを増やす」27.2%などとなっている。
- また、「税金が高くなっても国や地方自治体の負担金を増やす」との回答者に介護費の財源とすべき税金について尋ねたところ、「消費税」52.5%、「所得税」45.2%と意見が分かれた。

図表 2-3-17 増加する介護費をまかなう方法として望ましいもの



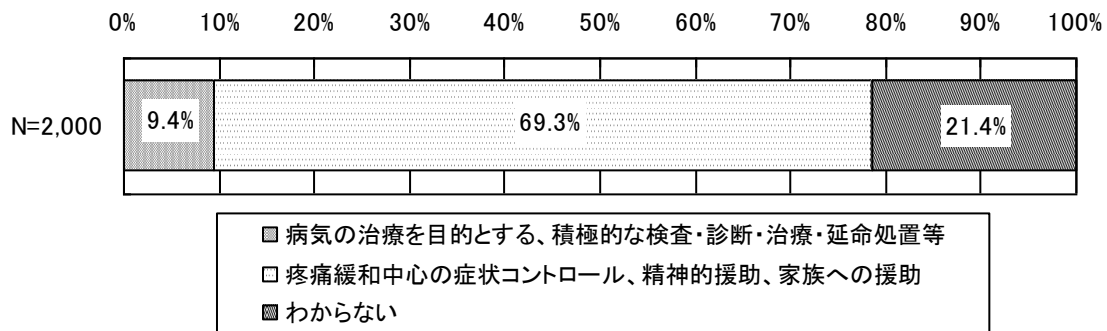
図表 2-3-18 介護費の財源とすべき税金



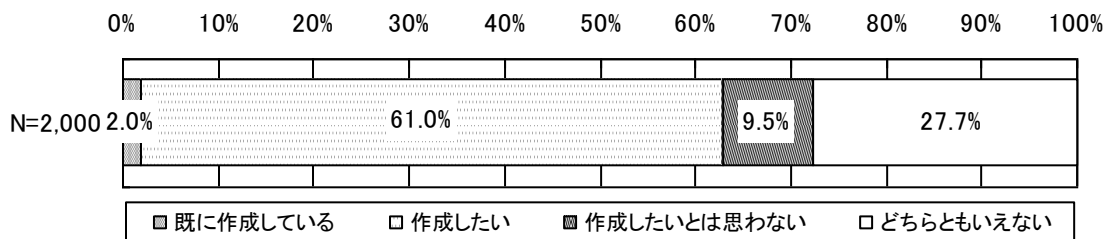
7 終末期医療に関する考え方

- 希望する終末期医療の内容は「疼痛緩和中心の症状コントロール、精神的援助、家族への援助」69.3%となっており、積極的な治療を望まない人が多数を占めている。
- 終末期医療を受けたい場所をみると、前回調査では「自宅」を希望する回答が31.0%で最も多かったのに対し、今回は「ホスピス等の緩和ケア施設」との回答が37.3%（前回29.4%）と最も多くなっている。なお、「自宅」での終末期医療については、「往診・訪問診療をしてくれる医師」、「介護してくれる家族」が療養のために必要との回答が多くなっており、こうしたニーズに応える提供体制の整備が求められる。

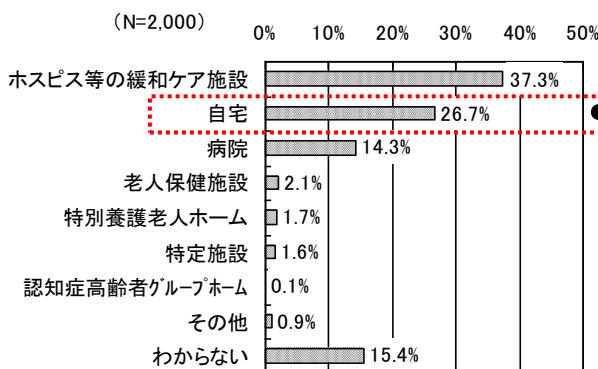
図表 2-3-19 希望する終末期医療の内容



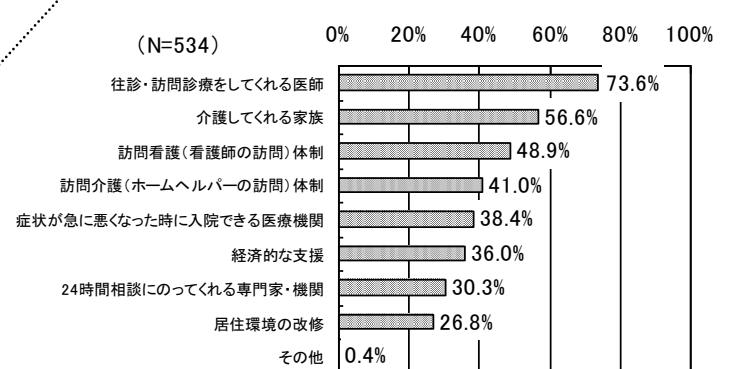
図表 2-3-20 事前の意思確認書の作成意向



図表 2-3-21 終末期医療を受けたい場所



図表 2-3-22 自宅で最期まで療養するために必要なこと(複数回答)

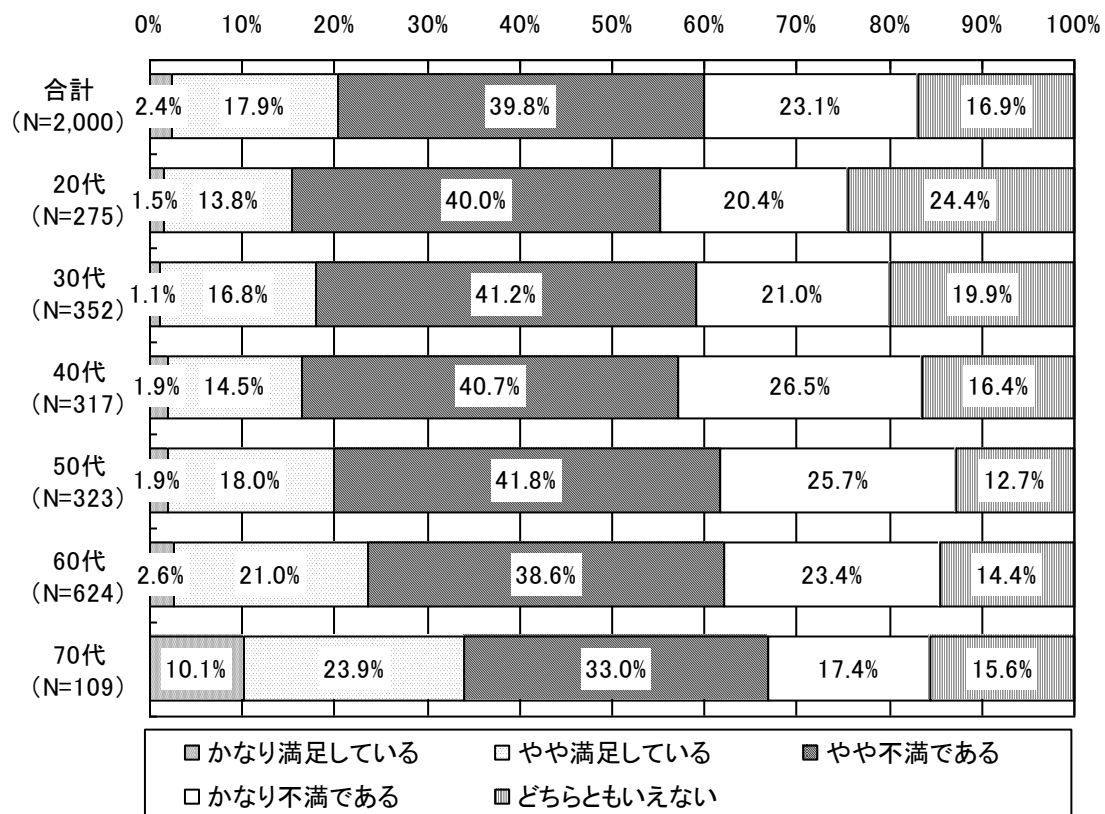


4 医療全般について

1 現在の医療の満足度・医療機関への要望

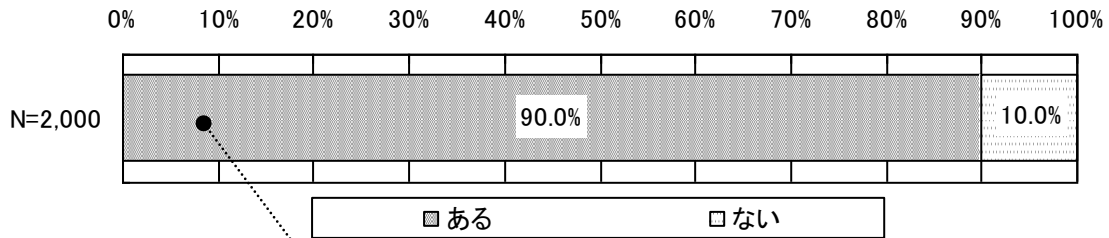
- 現在の医療の満足度についてみると、「かなり満足している」と「やや満足している」を合わせると 20.3%、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると 62.9%、「どちらともいえない」が 16.9%であった。前回調査と比較して、現在の医療についての「満足」の割合が 31.1%から 20.3%に減少した一方で、「不満」の割合が 47.1%から 62.9%に増加している。ただし、40代以上については、年齢が上がるにつれて満足している人（「かなり満足している」と「やや満足している」の合計）の回答割合が増加する傾向にあった。

図表 2-4-1 現在の医療の満足度；年齢階層別

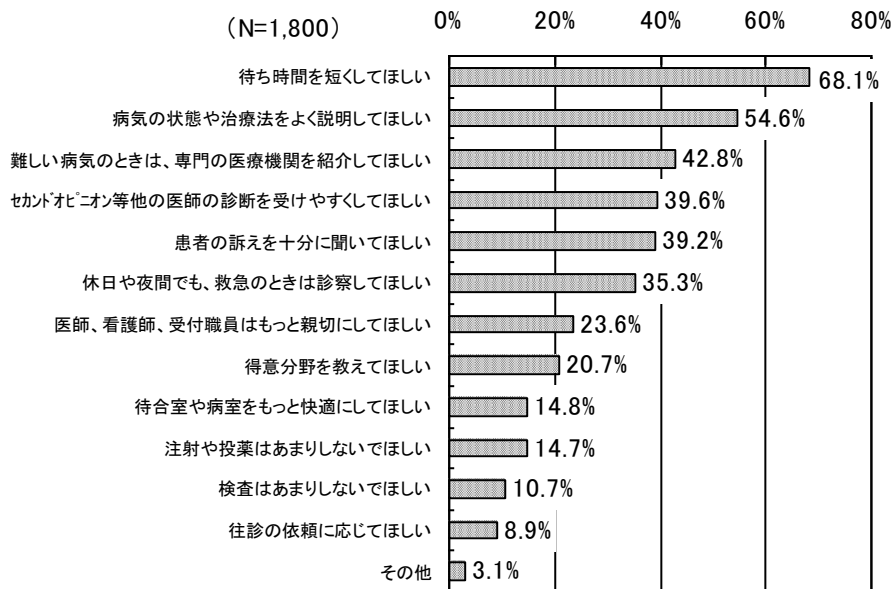


- また、医療機関に対する要望が「ある」との回答割合が前回（79.7%）から10ポイント以上増加し、90.0%に達している。
- 医療機関への要望の内容としては、「待ち時間を短くしてほしい」68.1%が最も多く、次いで「病気の状態や治療法をよく説明してほしい」54.6%、「難しい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」42.8%などとなっている。

図表 2-4-2 医療機関への要望の有無



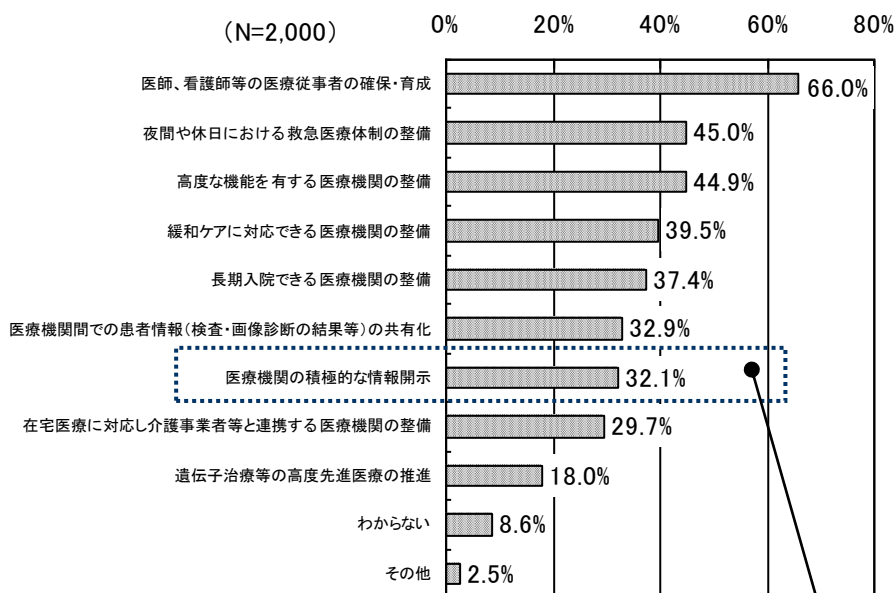
図表 2-4-3 医療機関への要望の内容（複数回答）



2 今後のわが国の医療のあり方として希望すること

- 今後のわが国の医療のあり方として希望することについては、「医師、看護師等の医療従事者の確保・育成」66.0%が最も多く、次いで「夜間や休日における救急医療体制の整備」45.0%、「高度な機能を有する医療機関の整備」44.9%などとなっている。

図表 2-4-4 今後のわが国の医療のあり方として希望すること（複数回答）

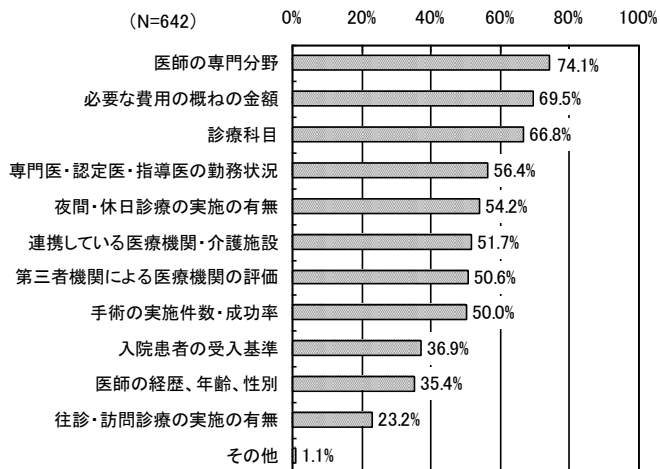
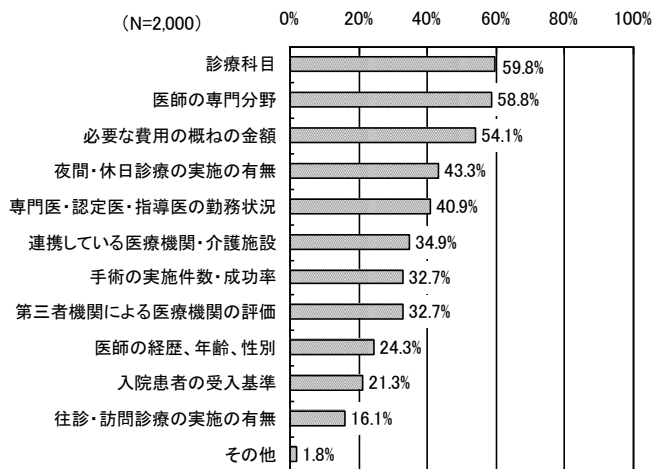


- 「医療機関の積極的な情報開示」に関連して、医療機関の情報として特にほしいことについて回答を求めたところ、「診療科目」、「医師の専門分野」、「必要な費用の概ねの金額」などの回答割合が高くなっている。

図表 2-4-5 医療機関の情報として特にほしいこと（複数回答）

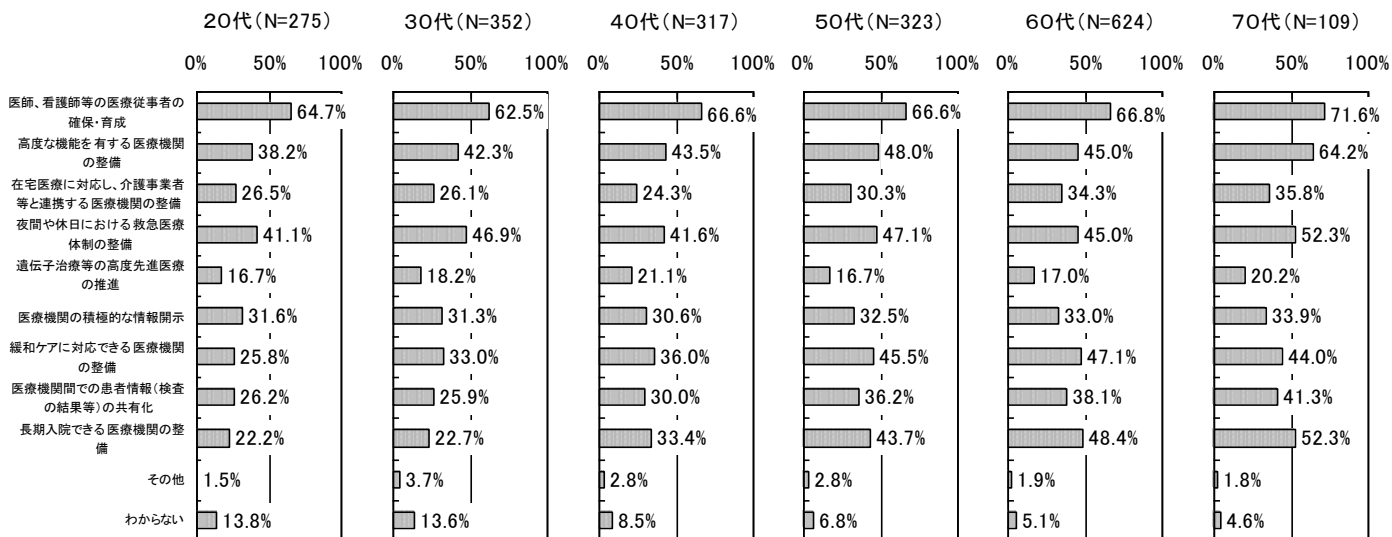
【対象者全員】

【医療機関の積極的な情報開示を希望した人】



- 今後のわが国の医療のあり方として希望することについて年齢階層別にみると、60代以外の年齢階層において「医師、看護師等の医療従事者の確保・育成」、「高度な機能を有する医療機関の整備」、「夜間や休日における救急医療体制の整備」の回答割合が多かった。
- また、「長期入院できる医療機関の整備」については、年齢階層が上がるにしたがって回答割合が多くなる傾向がみられた。

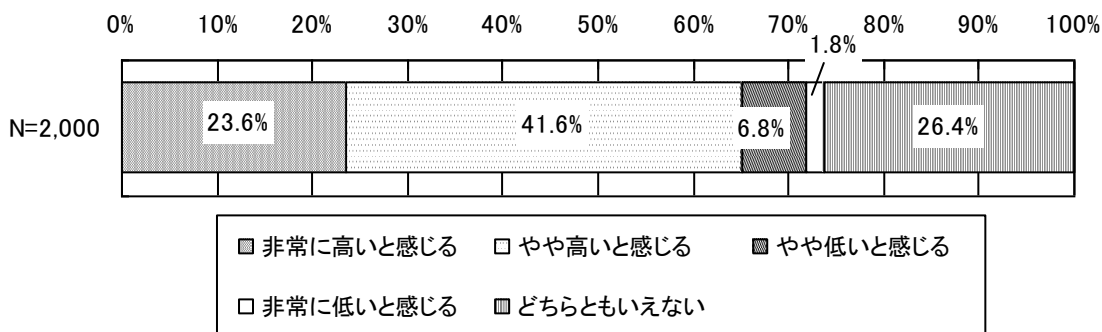
図表 2-4-6 今後のわが国の医療のあり方として希望すること（複数回答）；年齢階層別



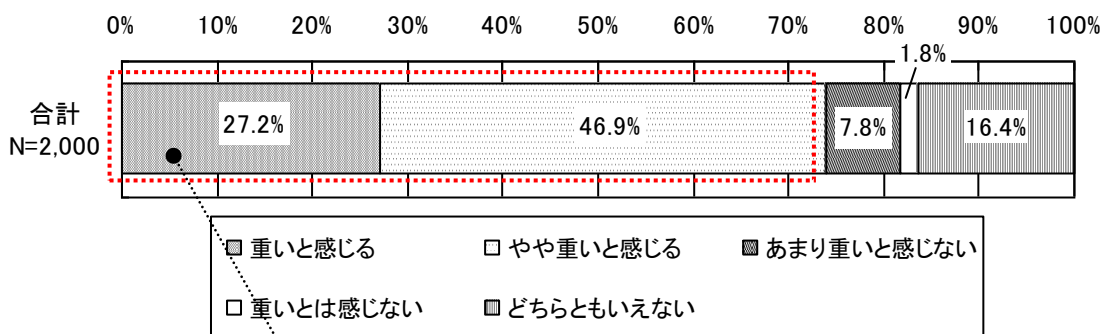
3 わが国の医療費について

- わが国の平成 20（2008）年度の国民医療費 34 兆 8,084 億円についての考えをみると、「非常に高いと感じる」と「やや高いと感じる」を合わせると 65.2%、「非常に低いと感じる」と「やや低いと感じる」を合わせると 8.6%、「どちらともいえない」が 26.4%であった。
- 医療費に係る国民の負担（保険料・税金・患者負担）についての考えをみると、「重いと感じる」と「やや重いと感じる」を合わせると 74.1%、「重いとは感じない」と「あまり重いと感じない」を合わせると 9.6%、「どちらともいえない」が 16.4%であった。

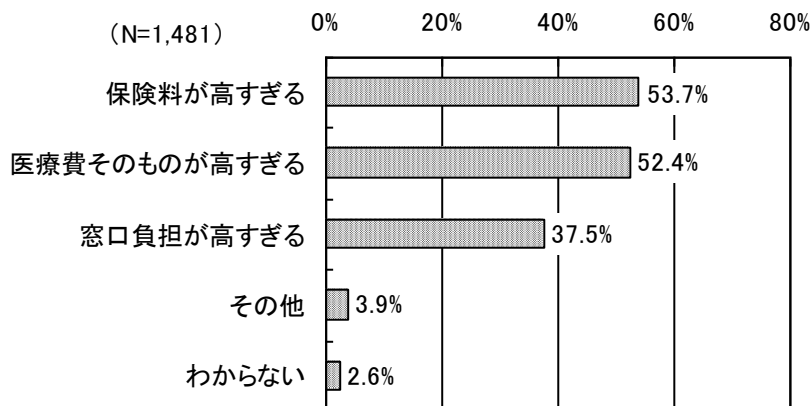
図表 2-4-7 わが国の国民医療費についての考え



図表 2-4-8 医療費に係る国民の負担（保険料・税金・患者負担）についての考え

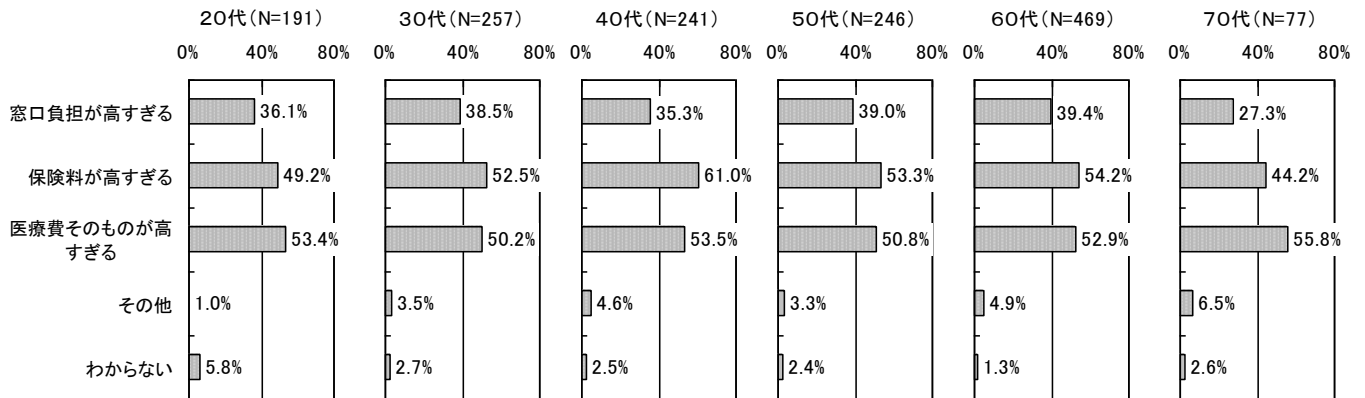


図表 2-4-9 国民の負担が重いと考える点（複数回答）



- 国民の負担が重いと感じる点について年齢階層別にみると、20代及び70代では「医療費そのものが高すぎる」との回答が最も多くなっており、その他の年齢階層では「保険料が高すぎる」との回答が最も多くなっている。また、70代では「窓口負担が高すぎる」との回答割合が、他の年齢階層に比較して低くなっている。

図表 2-4-10 国民の負担が重いと考える点（複数回答）；年齢階層別



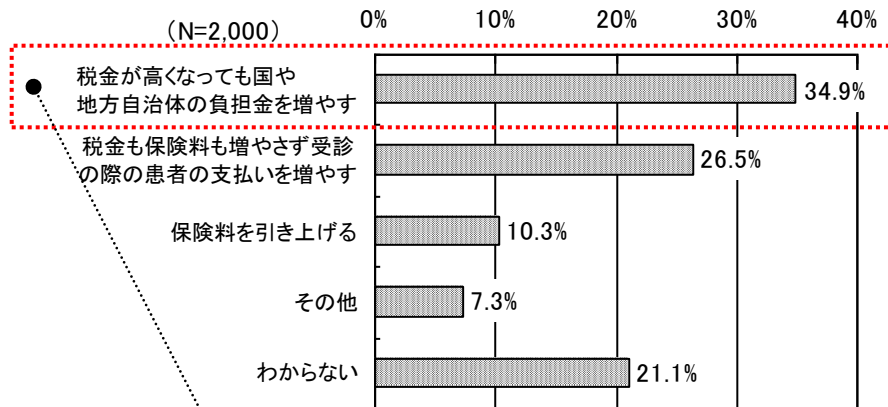
- 医療サービスと費用負担のあり方に関する意向としては、「医療サービスの水準をさらに引き上げて、それに伴う負担増は生じてもよい」との回答割合が最も多かった。

図表 2-4-11 医療サービスと費用負担のあり方に関する意向

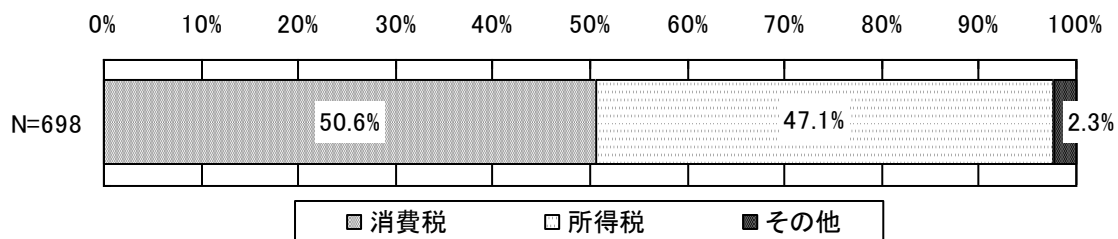
	件数	割合
医療サービスの水準をさらに引き上げて、それに伴う負担増は生じてもよい	902	45.1%
現行の医療サービスの水準を据え置いたままで、負担増はやむを得ない	653	32.7%
医療サービスの水準を今よりも低下させて、最低限の負担増がよい	274	13.7%
その他	171	8.6%
合計	2,000	100.0%

- わが国の増加する医療費をまかなう方法として望ましいものとしては、「税金が高くなって国や地方自治体の負担金を増やす」34.9%が最も多く、次いで「税金も保険料も増やさず受診の際の患者の支払いを増やす」26.5%などとなっている。前回調査と比較して、税金(前回 27.6%)、患者負担(前回 5.6%)が望ましいとの意見が増え、保険料(前回 17.5%)は減少している。
- さらに、「税金が高くなって国や地方自治体の負担金を増やす」との回答者に医療費の財源とすべき税金について尋ねたところ、「消費税」50.6%、「所得税」47.1%と意見が分かれた。

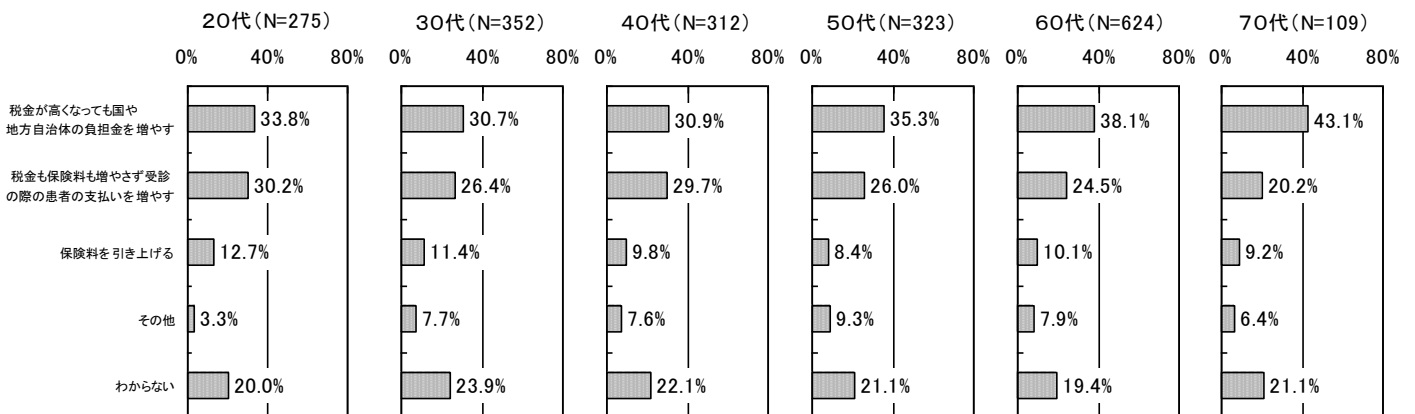
図表 2-4-12 増加する医療費をまかなう方法として望ましいもの



図表 2-4-13 医療費の財源とすべき税金

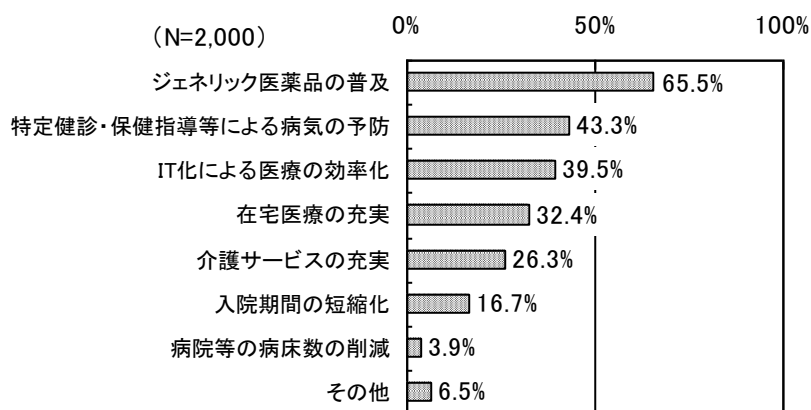


図表 2-4-14 増加する医療費をまかなう方法として望ましいもの；年齢階層別



- 医療費を抑制する方法として望ましいものとしては、「ジェネリック医薬品の普及」65.5%が最も多く、次いで「特定健診・保健指導等による病気の予防」43.3%、「IT化による医療の効率化」39.5%などとなっている。特に「IT化による医療の効率化」の回答割合は、前回調査時の24.4%と比較して15ポイントほど増加している。

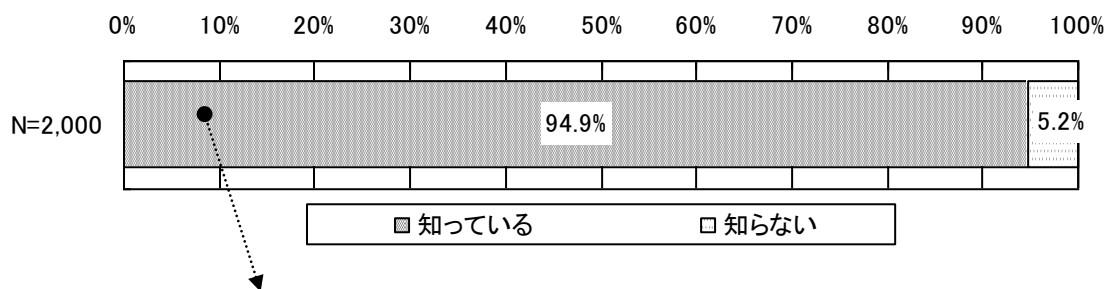
図表 2-4-15 増加する医療費の伸びを抑える方法として望ましいもの（複数回答）



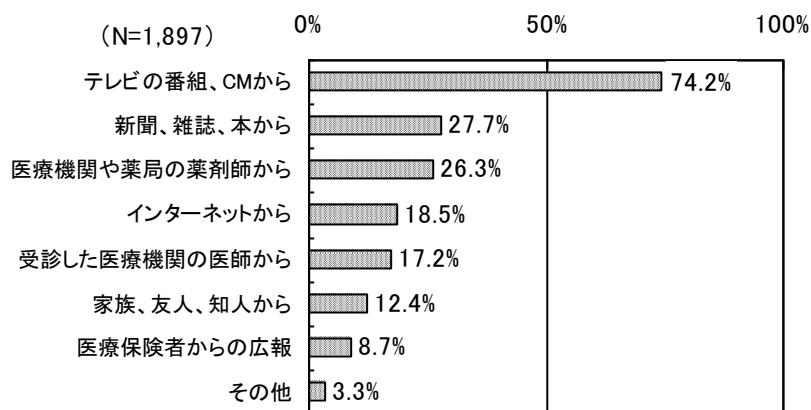
4 ジェネリック医薬品（後発医薬品）について

- ジェネリック医薬品について「知っている」との回答割合は 94.9%と、前回調査時の 74.4%と比較して 20 ポイントほど増加している。
- また、ジェネリック医薬品を知ることになった情報源については、「テレビの番組、CM」74.2%が最も多く、次いで「新聞、雑誌、本」27.7%、「医療機関や薬局の薬剤師」26.3%などとなっている。

図表 2-4-16 ジェネリック医薬品の認知度

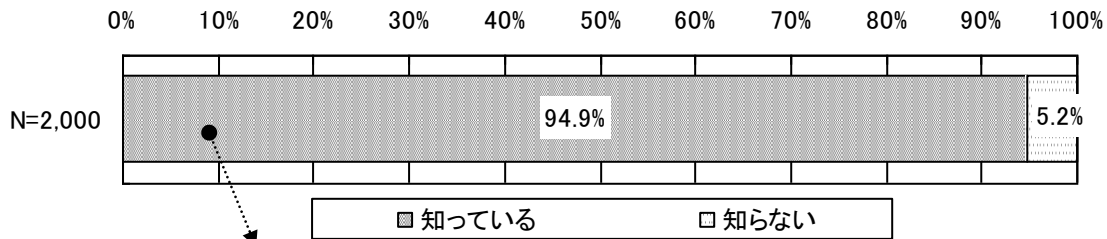


図表 2-4-17 ジェネリック医薬品を知ることになった情報源（複数回答）

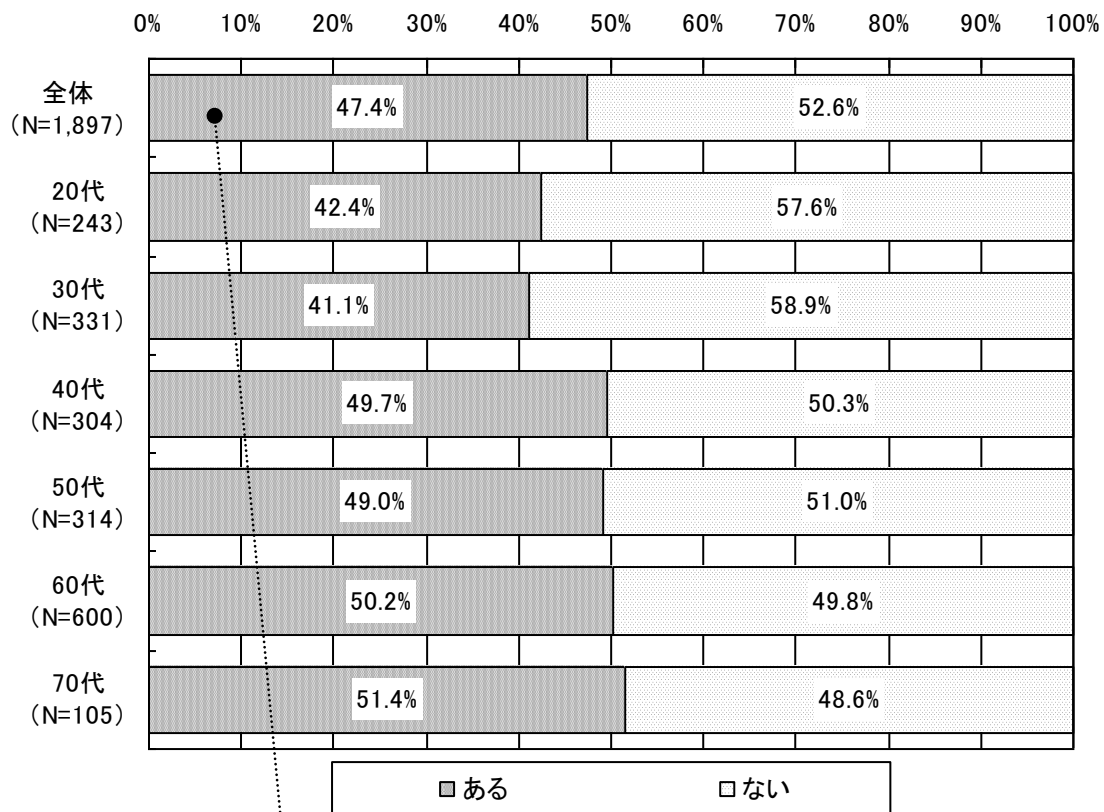


○ ジェネリック医薬品の服用経験の有無についてみると、「ある」が47.4%と前回調査時の17.6%から30ポイント増と大幅に伸びている。また、服用することになったきっかけとしては「薬局で薬剤師にすすめられた」41.0%が最も多く、次いで「医療機関で医師にすすめられた」33.7%などとなっている。

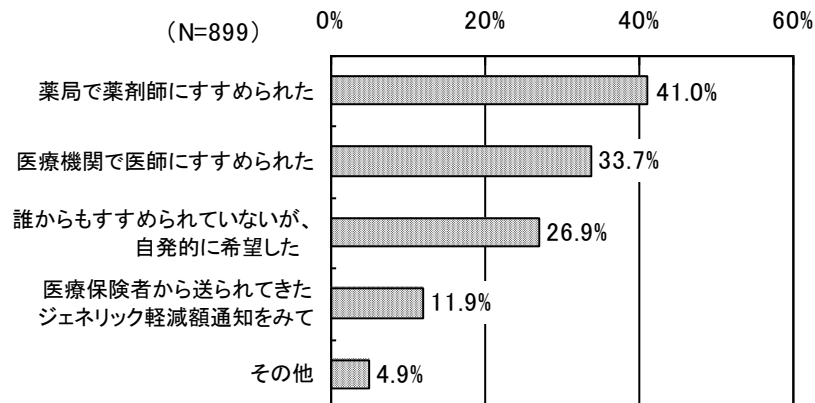
図表 2-4-18 ジェネリック医薬品の認知度 [再掲]



図表 2-4-19 ジェネリック医薬品の服用経験の有無；年齢階層別



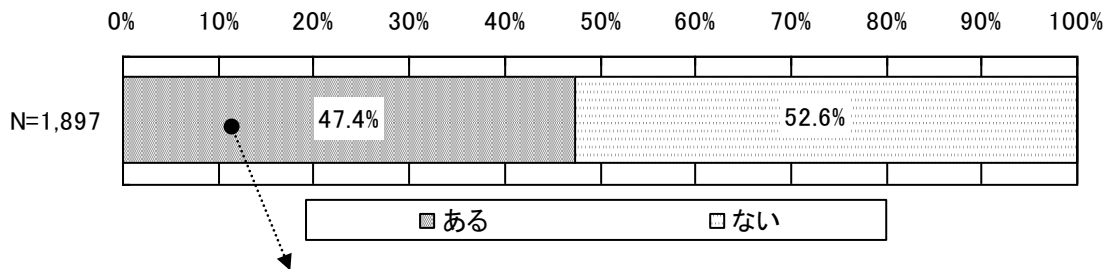
図表 2-4-20 ジェネリック医薬品を服用することになったきっかけ (複数回答)



○ ジェネリック医薬品の服用経験の有無を年齢階層別でみると、40代以上については約半数の人がジェネリック医薬品の服用経験が「ある」と回答している（図表 2-4-19）。

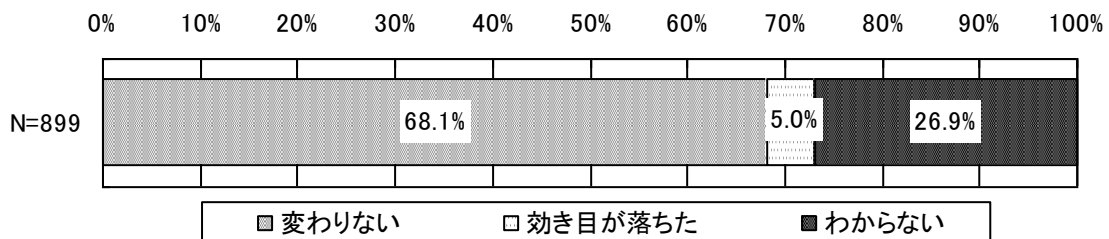
○ ジェネリック医薬品を知っていて服用経験のある人にその感想を求めたところ、薬の効き目については「変わらない」が 68.1%、薬の安全性については「不安を感じなかった」が 76.8%、窓口での負担については「かなり安くなった」が 47.6%となっている。

図表 2-4-21 ジェネリック医薬品の服用経験の有無 [再掲]

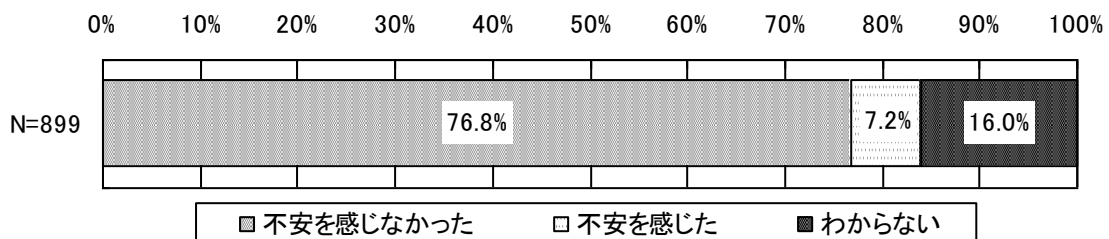


図表 2-4-22 ジェネリック医薬品を服用した感想

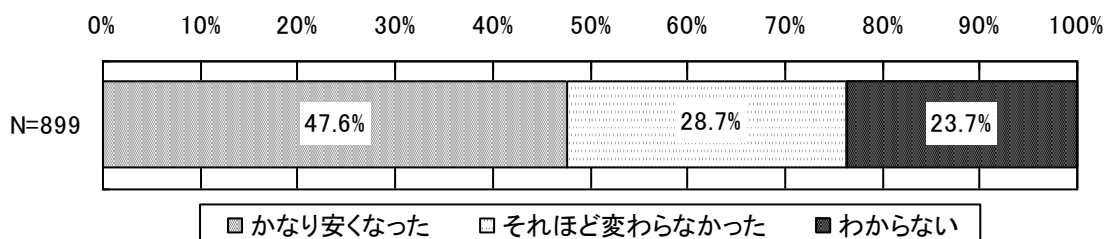
(1) 薬の効き目



(2) 薬の安全性

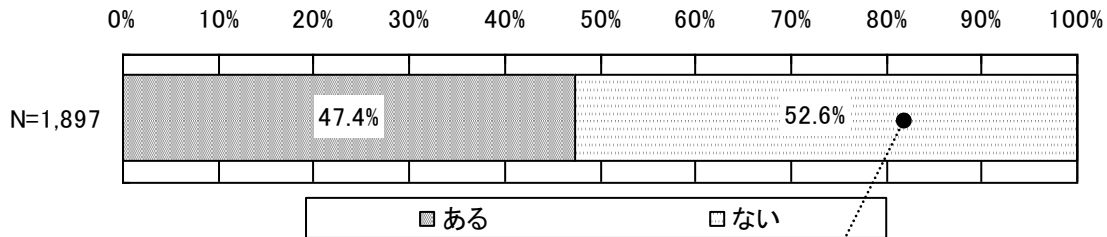


(3) 窓口での負担

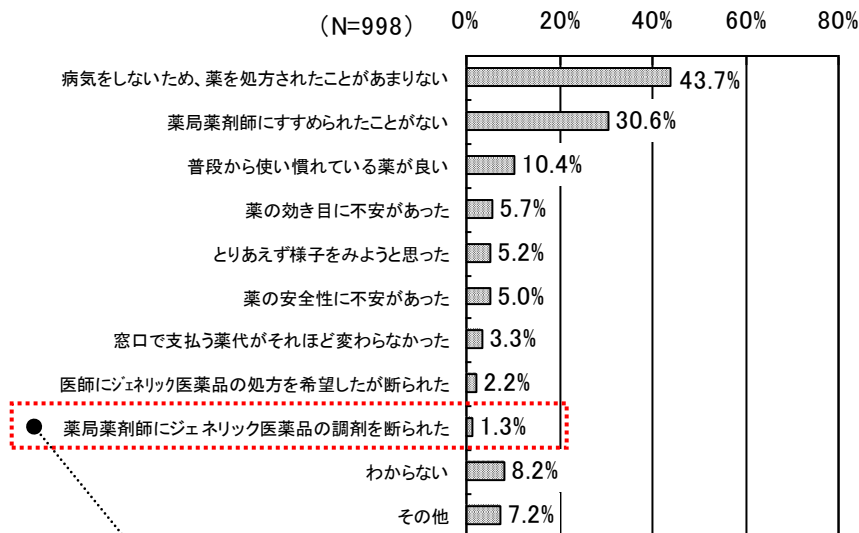


○ ジェネリック医薬品の服用経験が「ない」との回答者の服用しなかった理由をみると、「病気をしないため、薬を処方されたことがあまりない」43.7%が最も多く、次いで「薬局薬剤師にすすめられたことがない」30.6%などとなっている。ジェネリック医薬品を服用することになったきっかけ（図表 2-4-20）では、「薬局で薬剤師にすすめられた」41.0%が最も多かったことから、今後は薬局薬剤師が積極的にジェネリック医薬品をすすめていくことで、ジェネリック医薬品の使用促進の効果が見込めるのではないかと考えられる。

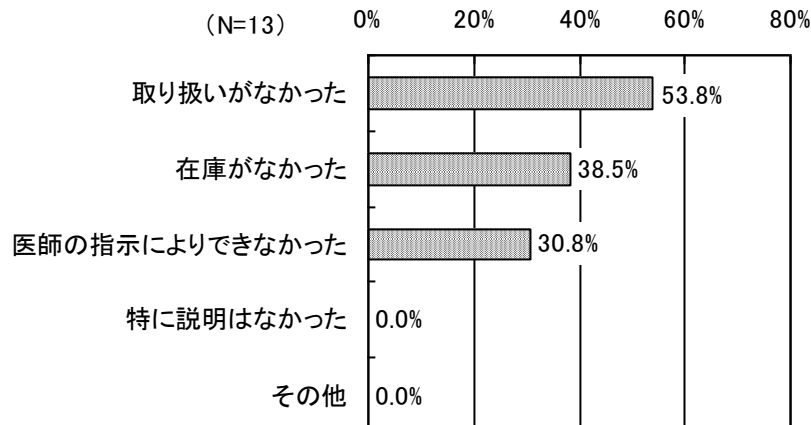
図表 2-4-23 ジェネリック医薬品の服用経験の有無 [再掲]



図表 2-4-24 服用しなかった理由（複数回答）

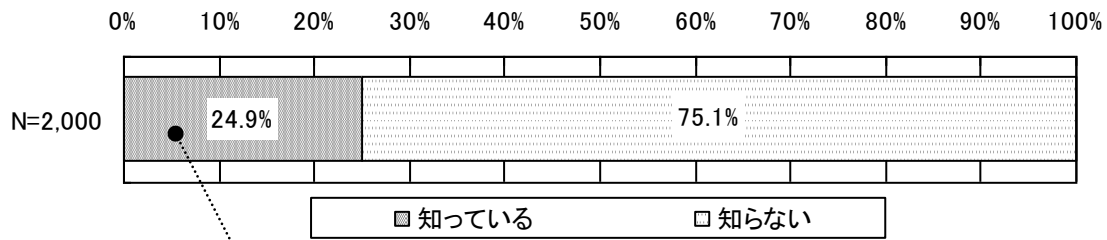


図表 2-4-25 薬局薬剤師にジェネリック医薬品の調剤を断られた理由（複数回答）

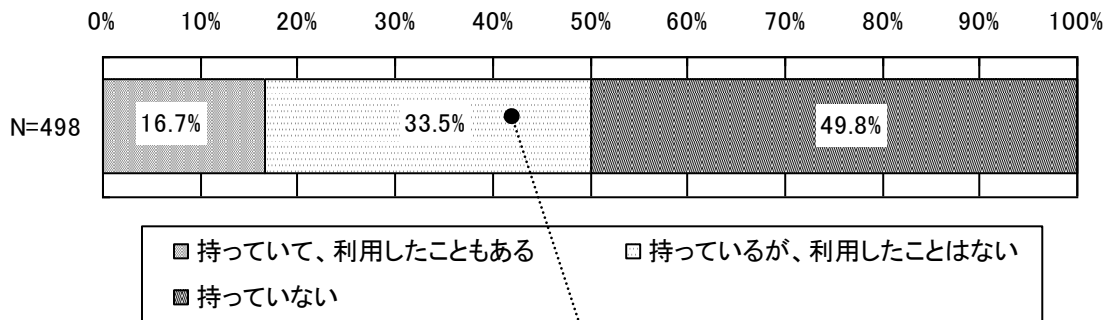


○ ジェネリック医薬品希望カードを「知っている」との回答割合は 24.9%で、そのうち「持っていて、利用したこともある」が 16.7%となっている。

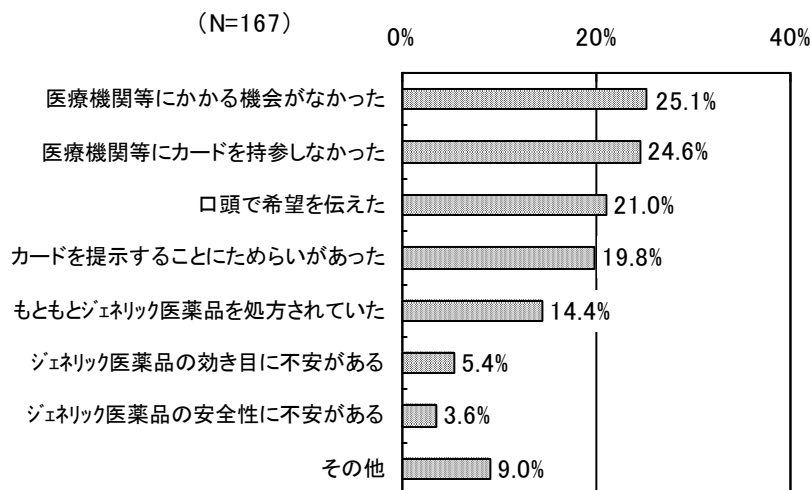
図表 2-4-26 ジェネリック医薬品希望カードに関する認知度



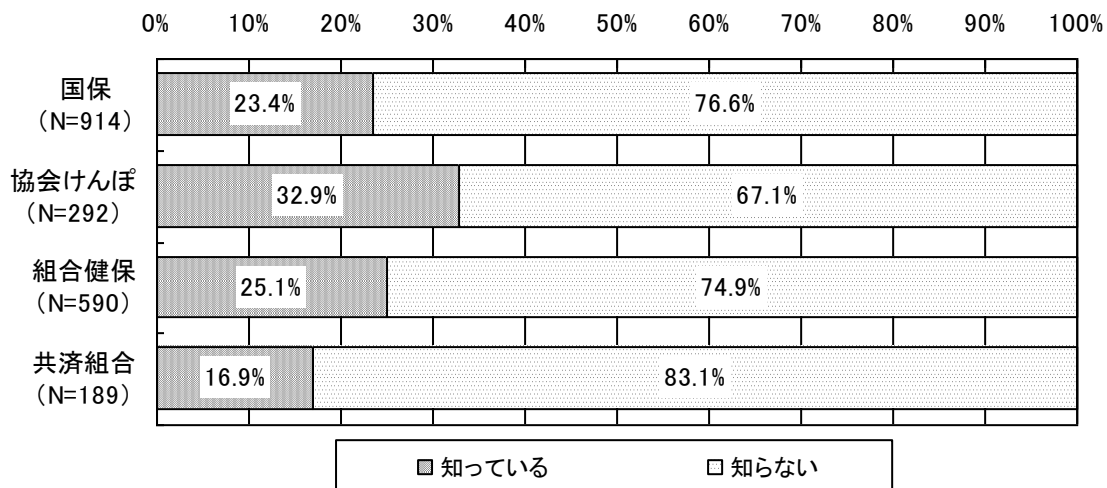
図表 2-4-27 ジェネリック医薬品希望カードの保有・利用状況



図表 2-4-28 ジェネリック医薬品希望カードを持っているのに利用しない理由（複数回答）

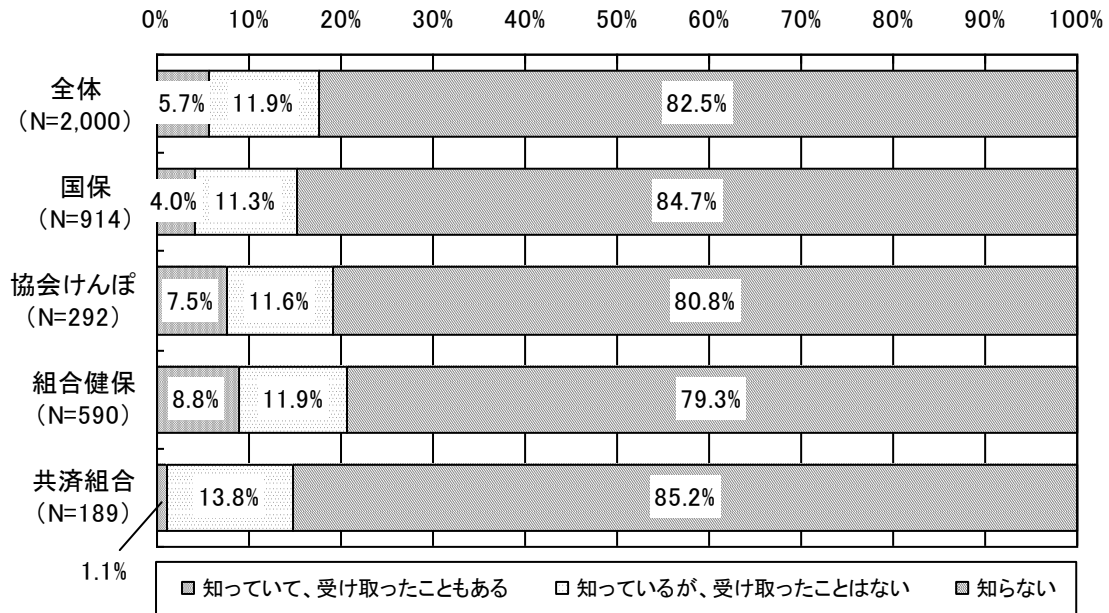


図表 2-4-29 ジェネリック医薬品希望カードに関する認知度；主要な加入医療保険別



○ ジェネリック軽減額通知について「知っていて、受け取ったこともある」は 5.7%しかなく、「知らない」が 82.5%と大変多くなっている。図表 2-4-42 において、医療保険者に対して「充実を希望するサービス」として「ジェネリック軽減額通知」が 22.9%と他のサービスと比較して高い割合となっていることから、医療保険者によるジェネリック軽減額通知の実施、普及啓発が求められていると言える。

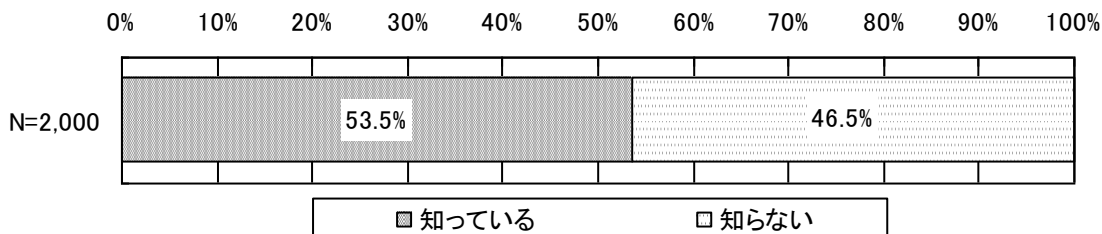
図表 2-4-30 ジェネリック軽減額通知に関する認知度；主要な加入医療保険別



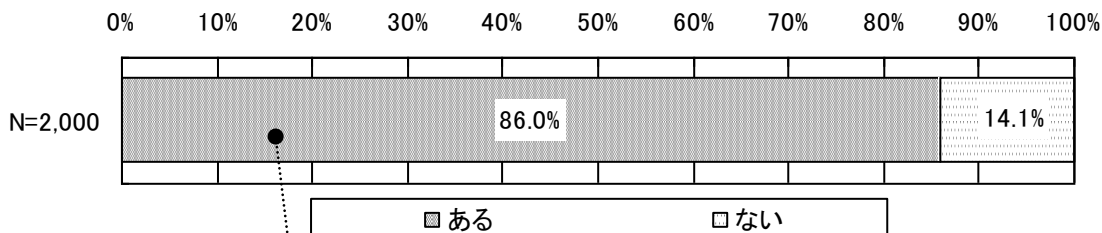
5 明細書発行義務化について

- 明細書発行義務化について「知っている」との回答割合は53.5%となっている。
- 明細書を受け取ってよかったこととして「医療費の内訳がわかりやすかった」57.9%が最も多く、次いで「治療・検査等の具体名がわかりやすくなった」50.8%などとなっている。

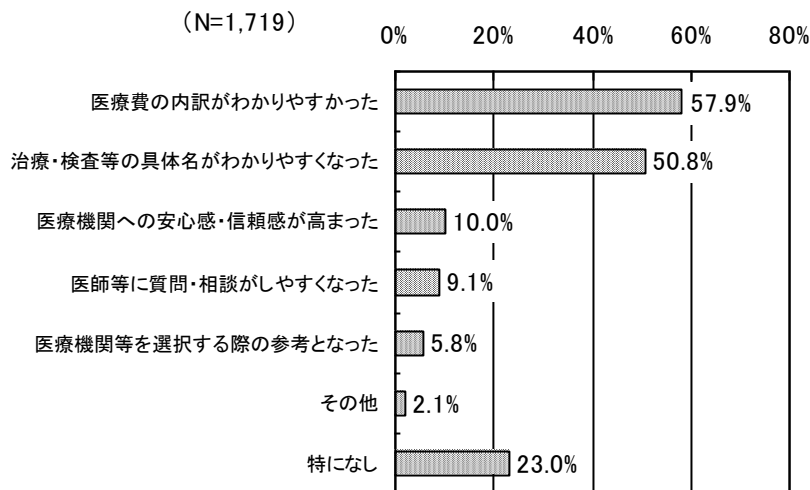
図表 2-4-31 明細書発行義務化に関する認知度



図表 2-4-32 医療機関や薬局から明細書を受け取った経験の有無

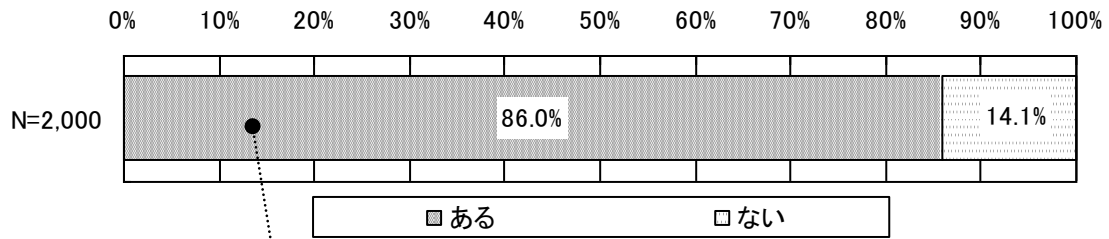


図表 2-4-33 明細書を受け取ってよかったこと（複数回答）

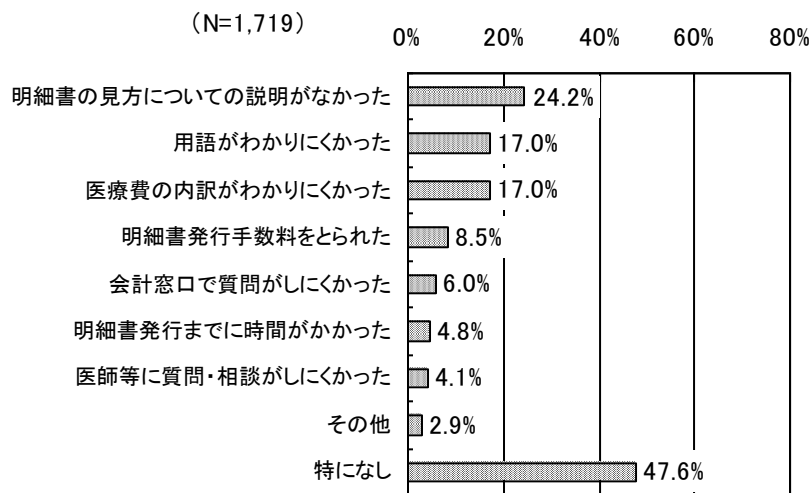


- 明細書を受け取って困ったことの原因として「明細書の見方についての説明がなかった」24.2%が最も多くなっている。そのため、今後は明細書の受領効果を高めるためにも、その見方についての情報提供を行う必要がある。

図表 2-4-34 医療機関や薬局から明細書を受け取った経験の有無 [再掲]

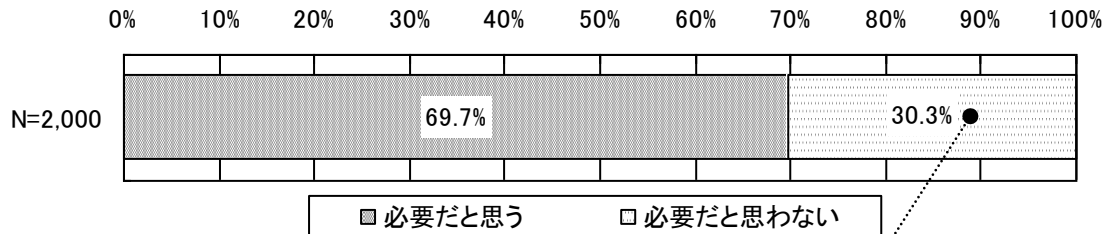


図表 2-4-35 明細書を受け取って困ったこと（複数回答）

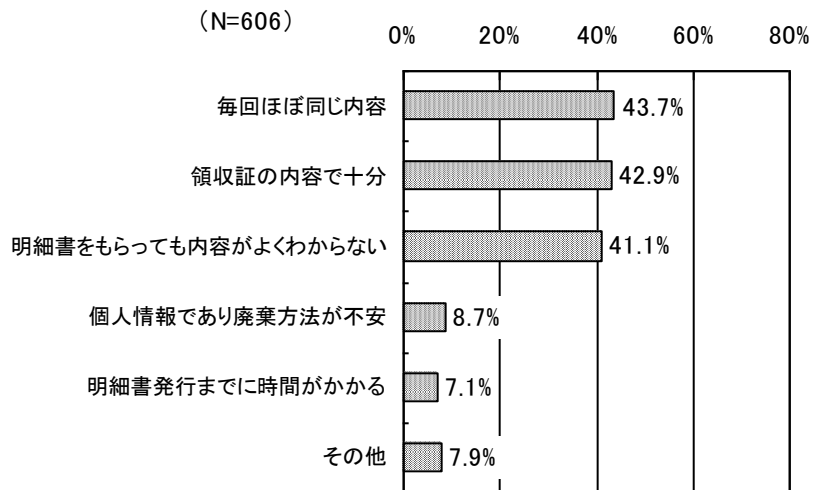


- 明細書については69.7%が「必要だと思う」と回答している。
- 明細書が必要ないと思う理由として「毎回ほぼ同じ内容」43.7%が最も多く、次いで「領収証の内容で十分」42.9%、「明細書をもらっても内容がよくわからない」41.1%などとなっている。

図表 2-4-36 明細書の必要性に関する意向



図表 2-4-37 明細書が必要ないと思う理由（複数回答）



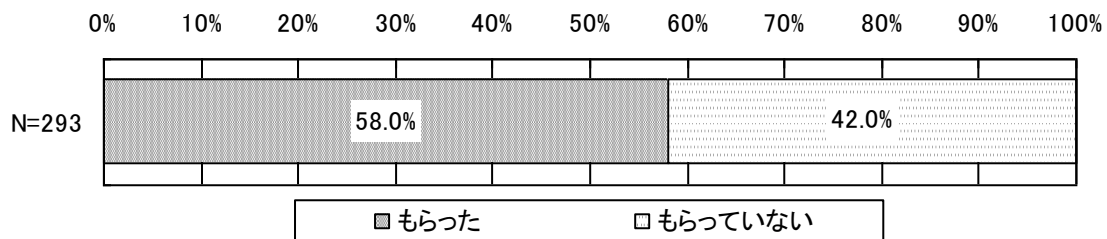
6 整骨院や接骨院、鍼灸院について

- 平成 22 年 9 月 1 日より、柔道整復についても領収書の無料発行が義務づけられたところであるが、領収書を「もらっていない」との回答が 42.0%にもものぼっており、領収書発行の徹底が求められるところである。

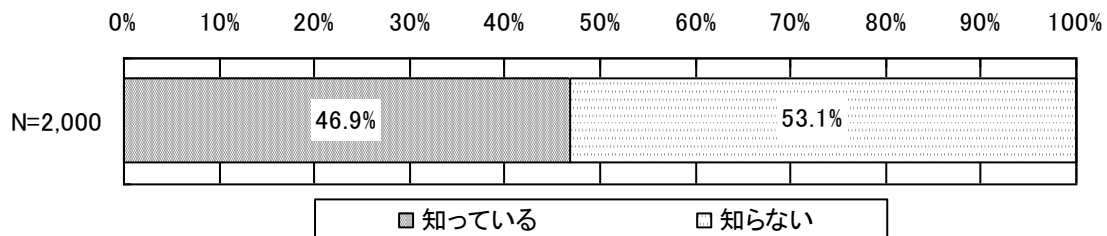
図表 2-4-38 整骨院や接骨院、鍼灸院において施術を受けた経験（複数回答）

[N=2,000]	件数	割合
整骨院や接骨院などで、柔道整復師の施術を受けたことがある	293	14.7%
鍼灸院などで、はり・きゅう、マッサージの施術を受けたことがある	191	9.6%
整骨院や接骨院、鍼灸院などで、施術を受けたことはない	1,574	78.7%

図表 2-4-39 領収書の受領の経験の有無



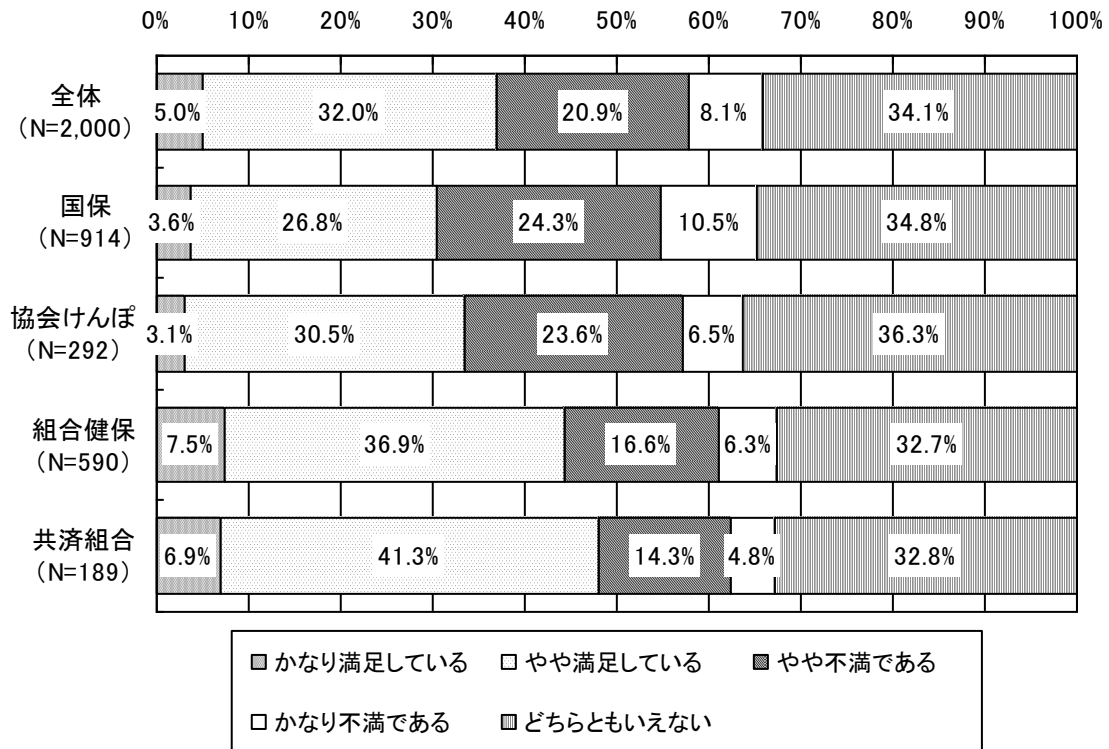
図表 2-4-40 整骨院や接骨院、鍼灸院において施術の保険適用範囲に関する認知度



7 医療保険者からのサービスの満足度・充実への期待

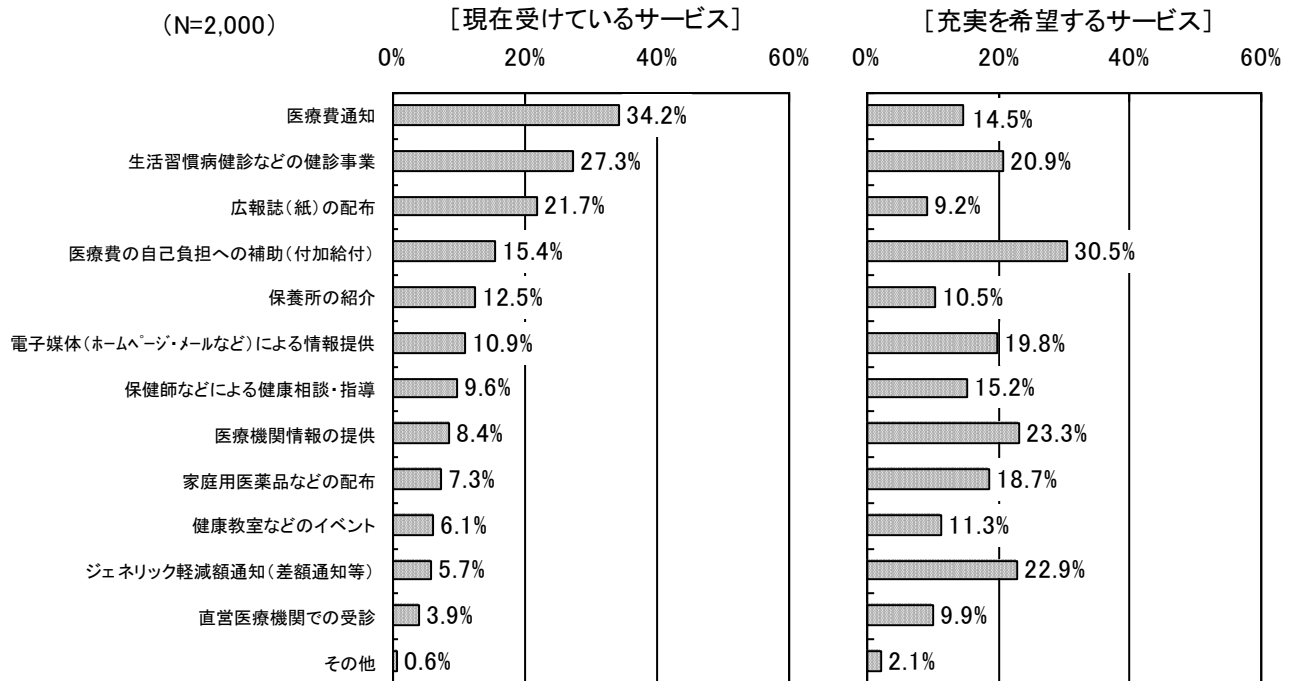
- 医療保険者からのサービスの満足度についてみると、「かなり満足している」と「やや満足している」を合わせると37.0%、「かなり不満である」と「やや不満である」を合わせると29.0%、「どちらともいえない」が34.1%と意見が分かれる結果となった。

図表 2-4-41 医療保険者からのサービスの満足度；主要な加入医療保険別

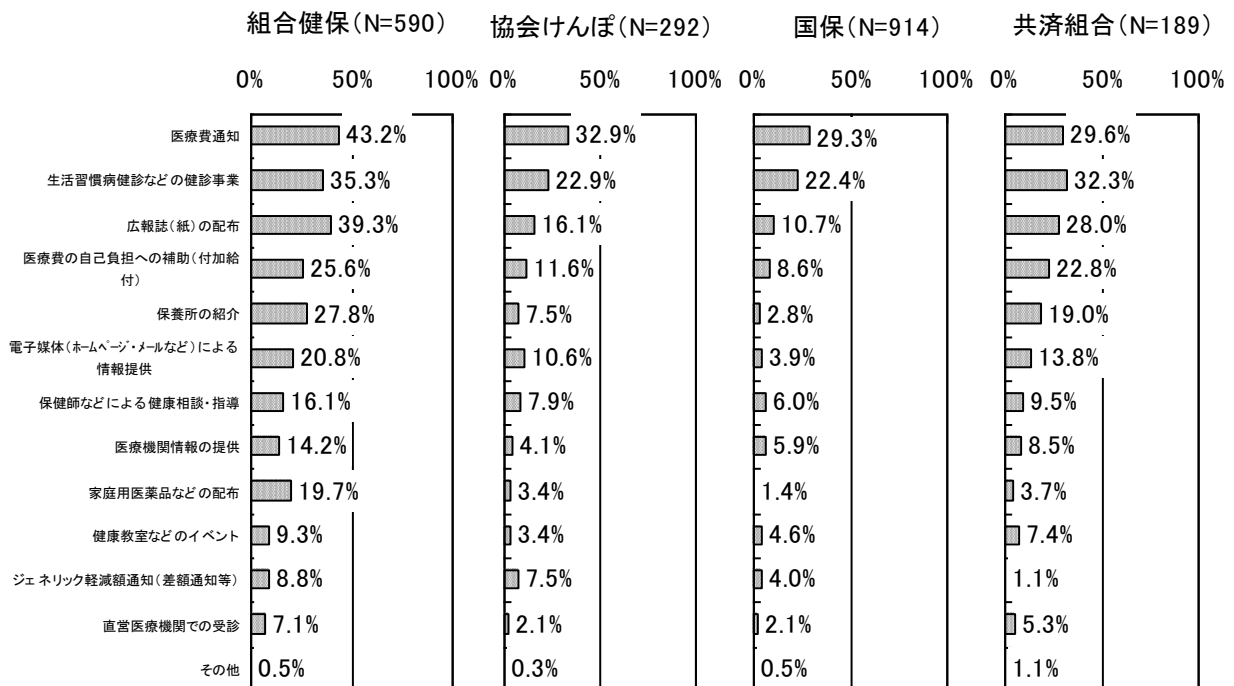


○ 今後充実を希望するサービスについてみると、「医療費の自己負担への補助」30.5%が最も多く、次いで「医療機関情報の提供」23.3%、「ジェネリック軽減額通知」22.9%などとなっている。

図表 2-4-42 医療保険者から [現在受けているサービス] と [充実を希望するサービス] (複数回答)



図表 2-4-43 医療保険者から [現在受けているサービス] (複数回答) ; 主要な加入医療保険別

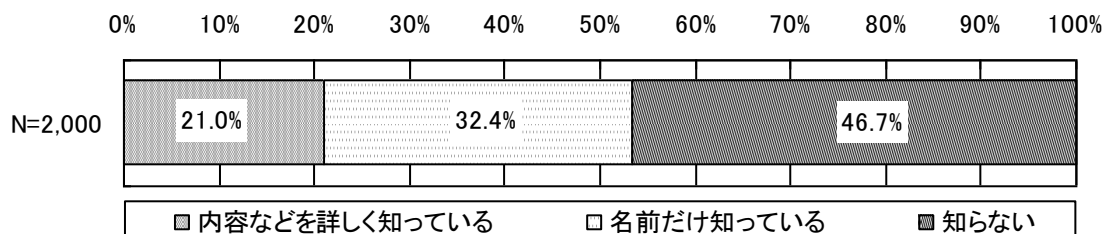


5 その他

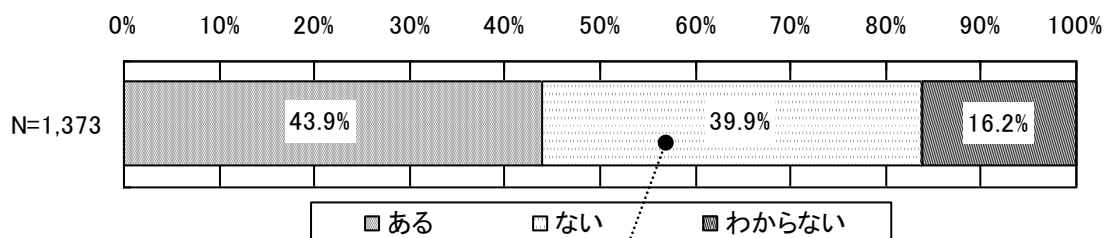
1 特定健康診査・特定保健指導の認知度、受診状況

- 特定健康診査・特定保健指導の「内容などを詳しく知っている」との回答割合が 21.0%と、前回調査時の 2.9%と比較して大幅に増加している。

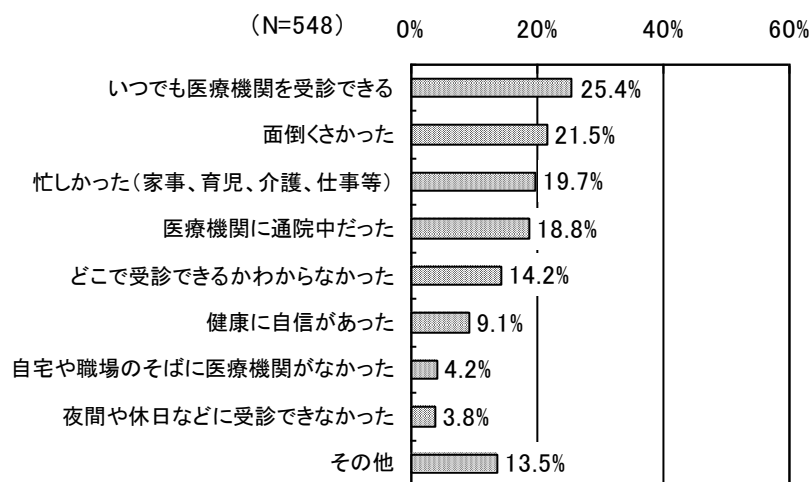
図表 2-5-1 特定健康診査・特定保健指導の認知度



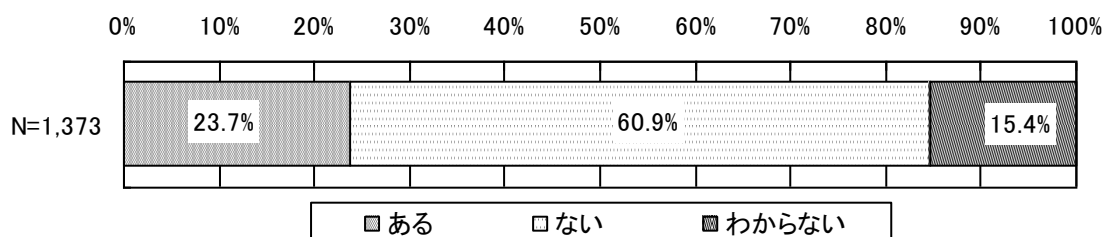
図表 2-5-2 特定健康診査の受診の有無（40歳以上のみ）



図表 2-5-3 特定健康診査を受診しなかった理由（複数回答）



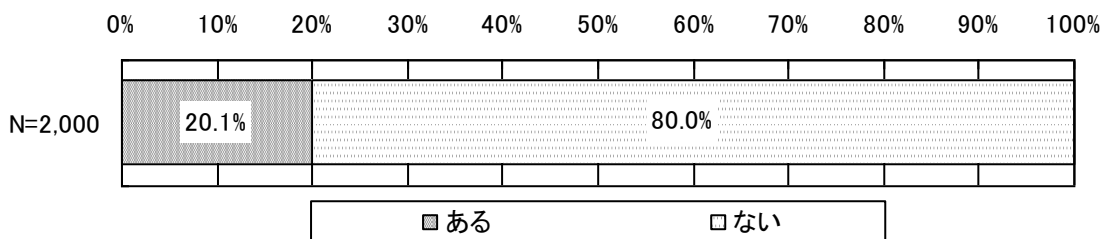
図表 2-5-4 特定保健指導の受診の有無（40歳以上のみ）



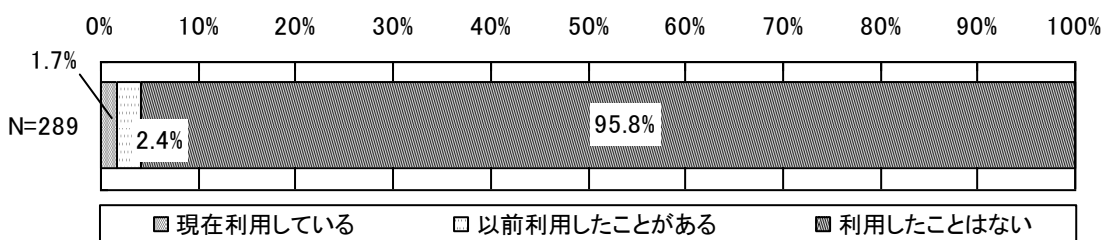
2 在宅での看取りの経験の有無・介護保険サービスの利用経験の有無

○ 家族・親族の誰かを在宅で看取った経験が「ある」人は20.1%（前回18.8%）となっている。

図表 2-5-5 家族・親族の誰かを在宅で看取った経験の有無



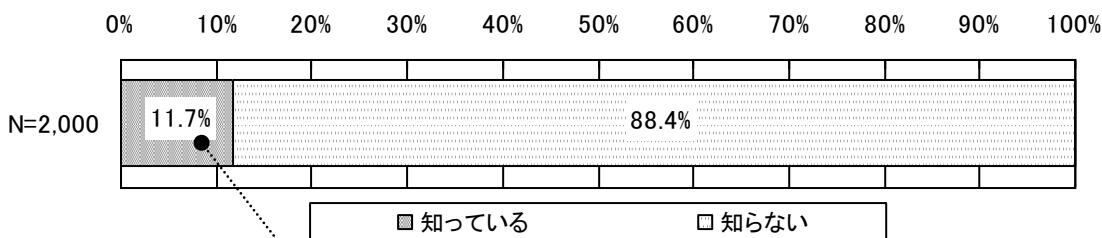
図表 2-5-6 本人による介護保険サービスの利用経験の有無（65歳以上のみ）



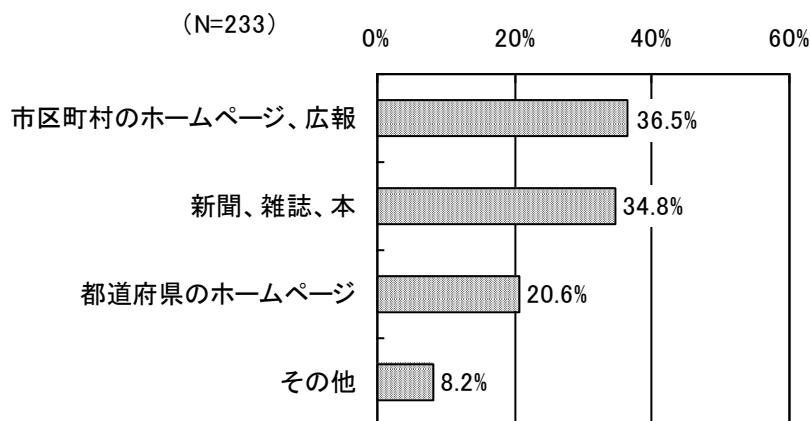
3 その他

○ 医療計画を「知っている」人は11.7%で、知ることになった情報源は「市区町村のホームページ、広報」36.5%が最も多くなっている。

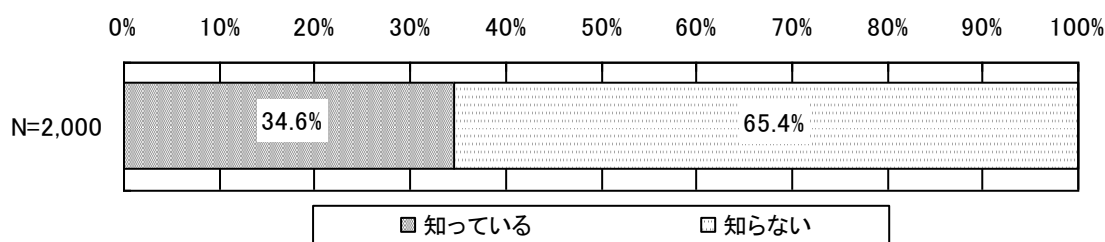
図表 2-5-7 医療計画の認知度



図表 2-5-8 医療計画を知ることになった情報源



図表 2-5-9 新たな高齢者医療制度の導入に関する認知状況



※回答の代表性について

○年齢

	回答結果		推計人口 総務省統計局（H21.10.1 現在）	
	回答数	構成割合	推計人口	構成割合
20代	275	13.8%	14,413,000	13.8%
30代	352	17.6%	18,304,000	17.5%
40代	317	15.9%	16,412,000	15.7%
50代	323	16.2%	16,875,000	16.2%
60代以上	733	36.7%	38,420,000	36.8%
合計	2,000	100.0%	104,424,000	100.0%

○地域

	回答結果		推計人口 総務省統計局（H21.10.1 現在）	
	回答数	構成割合	推計人口	構成割合
北海道	87	4.4%	4,598,000	4.4%
東北	148	7.4%	7,699,000	7.4%
関東	660	33.0%	34,597,000	33.1%
中部	340	17.0%	17,734,000	17.0%
近畿	353	17.7%	18,487,000	17.7%
中国・四国	185	9.3%	9,527,000	9.1%
九州・沖縄	227	11.4%	11,782,000	11.3%
合計	2,000	100.0%	104,424,000	100.0%

※推計人口【総務省統計局（H21.10.1 現在）】における 20 歳以上人口での集計結果。

調查項目一覽

はじめに、あなたご自身についてお尋ねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|-------|-------|
| 01 男性 | 02 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をご記入ください。

満 歳

問3 あなたがお住まいの都道府県はどちらですか。

- | | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| 01 北海道 | 02 青森県 | 03 岩手県 | 04 宮城県 | 05 秋田県 | 06 山形県 |
| 07 福島県 | 08 茨城県 | 09 栃木県 | 10 群馬県 | 11 埼玉県 | 12 千葉県 |
| 13 東京都 | 14 神奈川県 | 15 新潟県 | 16 富山県 | 17 石川県 | 18 福井県 |
| 19 山梨県 | 20 長野県 | 21 岐阜県 | 22 静岡県 | 23 愛知県 | 24 三重県 |
| 25 滋賀県 | 26 京都府 | 27 大阪府 | 28 兵庫県 | 29 奈良県 | 30 和歌山県 |
| 31 鳥取県 | 32 島根県 | 33 岡山県 | 34 広島県 | 35 山口県 | 36 徳島県 |
| 37 香川県 | 38 愛媛県 | 39 高知県 | 40 福岡県 | 41 佐賀県 | 42 長崎県 |
| 43 熊本県 | 44 大分県 | 45 宮崎県 | 46 鹿児島県 | 47 沖縄県 | |

問4 同居しているご家族をすべてお選びください。(○をいくつでも)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 01 一人暮らし | 02 配偶者(又はパートナー) |
| 03 子ども | 04 自分の父親 |
| 05 自分の母親 | 06 配偶者の父親 |
| 07 配偶者の母親 | 08 あなた又は配偶者の兄弟姉妹 |
| 09 あなた又は配偶者の祖父母 | 10 あなたの孫 |
| 11 その他() | |

問5 あなたの職業はどれですか。パート・アルバイト等含め、何らかの職業(仕事)に就いている方は01~09の選択肢からお選びください。(○を1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 01 農 林 漁 業 | 例. 農業、牧畜、造園業、林業、漁業など |
| 02 商工・サービス業 | 例. 卸売業、小売業、飲食店、理髪店、修理店など |
| 03 自 由 業 | 例. 開業医、弁護士、宗教家、著述業、茶華道師匠など |
| 04 経 営 ・ 管 理 職 | 例. 官公庁・民間会社・団体の課長級以上 |
| 05 専 門 ・ 技 術 職 | 例. 病院勤務医師、裁判官、研究所研究員など |
| 06 事 務 職 | 例. 一般事務職員、教員、事務機械オペレーター、新聞記者など |
| 07 労 務 ・ 技 能 職 | 例. 各種技能工、運転手、電話交換手、職人、守衛など |
| 08 販 売 ・ サ ー ビ ス 職 | 例. 販売店員、外交員、ウェイトレス、理・美容師 |
| 09 その他の職業 () | |
| 10 無 職 の 主 婦 | |
| 11 学 生 | |
| 12 そ の 他 無 職 | |

問 6 あなたの加入している**医療保険**はどれですか。(○を1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 01 組合管掌健康保険 (健保組合) | 02 全国健康保険協会 (協会けんぽ) |
| 03 船員保険 | 04 国民健康保険 (国保組合を含む) |
| 05 共済組合 (公務員、私立学校教職員) | 06 日雇保険 |
| 07 後期高齢者医療広域連合 (広域連合) | |

問 7 この1年間に病気やケガ、出産で、医療機関に**入院**したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 01 ある | 02 ない |
|-------|-------|

問 8 この1年間に病気やケガで、医療機関の**外来を受診**したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 01 ある | 02 ない |
|-------|-------|

問 8-1【問 8 で 01 を選んだ方のみ】あなたは、**同じ病気やケガで、同じ時期に複数の医療機関にかかった**ことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 01 ある | 02 ない |
|-------|-------|

問 8-2【問 8-1 で 01 を選んだ方のみ】その**理由**は何ですか。(○をいくつでも)

- | |
|--|
| 01 先に受診していた医療機関・医師からの紹介で、他院で専門的な検査等を受けた |
| 02 先に受診していた医療機関・医師からの紹介で、他院のセカンドオピニオン外来を受診した |
| 03 先に受診していた医療機関・医師の診察内容等に不満があり、自分の判断で他院を受診した |
| 04 その他 () |

問 9 平成 20 (2008) 年 4 月から 40 歳～74 歳の被保険者・被扶養者を対象に、医療保険者[※]が実施することを義務付けられた**特定健康診査・特定保健指導**についてご存知ですか。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 01 内容などについて詳しく知っている | 02 名前だけ知っている |
| 03 知らない | |

※医療保険を運営するために保険料を徴収したり、保険給付を行ったりする運営主体のことです。

問 10【40 歳以上の方のみ】**特定健康診査**を受診したことがありますか。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 01 ある | 02 ない | 03 わからない |
|-------|-------|----------|

問 10-1【問 10 で 02 を選んだ方のみ】その**理由**は何ですか。(○をいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 01 医療機関に通院中だったから |
| 02 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから |
| 03 忙しかったから (家事、育児、介護、仕事等) |
| 04 面倒くさかったから |
| 05 健康に自信があったから |
| 06 どこで受診できるかわからなかったから |
| 07 夜間や休日などに受診できなかったから |
| 08 自宅や職場のそばに受診できる医療機関等がなかったから |
| 09 その他 () |

問 11 【40 歳以上の方のみ】 **特定保健指導**を受けたことがありますか。

01 ある

02 ない

03 わからない

問 12 現在の後期高齢者医療制度を平成 24（2012）年度末までに廃止し、平成 25（2013）年度から **新たな高齢者医療制度を導入することを政府が検討していること**をご存知ですか。

01 知っている

02 知らない

医療機関のかかりかたについてお尋ねします。

問 13 あなたは、日頃から健康の相談をしたり病気になったときに、決まって診察を受ける医師・医療機関を持っていますか。(○を1つ)

- 01 病気になるといつも相談し、診察を受ける医師がいる
- 02 この病気ならこの先生という意味でなら、決まった医師がいる
- 03 いつもかかる医療機関ならあるが、診察を受ける医師は決まっていない
- 04 そのような医師・医療機関はない

問 13-1【問 13 で 01 を選んだ方のみ】その医師に決めた主な理由は何ですか。(○をいくつでも)

- 01 自宅から近く通院が便利であること
- 02 必要なときにいつでも連絡がとれ、適切な指示をしてくれること
- 03 医師の人柄が良いこと
- 04 病気や治療についてよく説明してくれること
- 05 健康や疾病予防、医療・介護の相談に気軽に応じてくれること
- 06 どんな病気でも診てくれること
- 07 深夜や休日などの緊急時にも診てくれること
- 08 往診を頼んでも断らないこと
- 09 あなたの病歴や健康状態などをよく知っていること
- 10 あなたのご家族の病歴や健康状態などもよく知っていること
- 11 医師の診察技術が優れていること
- 12 必要なときに、適切な医師・医療機関・訪問看護ステーション等を紹介してくれること
- 13 最新の設備が整えられていること
- 14 その他 ()

問 13-2【問 13 で 01 を選んだ方のみ】その医師のいる医療機関はどれですか。(○を1つ)

- 01 一般診療所 (医院・クリニック)
- 02 大学病院
- 03 国立病院
- 04 その他の病院

問 13-3【問 13 で 04 を選んだ方のみ】日頃から健康の相談をしたり、病気になったときに決まって診察を受ける医師・医療機関を持たない主な理由は何ですか。(○をいくつでも)

- 01 あまり病気をしないから
- 02 その都度、適当な医療機関を選ぶ方がよいと思うから
- 03 適当な医療機関を選ぶための情報が不足しているから
- 04 適当な医療機関をどう探してよいのか分からないから
- 05 その他 ()
- 06 特に理由はない

問 14 あなたが、日頃から健康の相談をしたり病気になったときに、決まって診察を受ける医師・医療機関に期待することをお選びください。(○をいくつでも)

- | |
|--|
| 01 自宅から近く通院が便利であること |
| 02 必要なときにいつでも連絡がとれ、適切な指示をしてくれること |
| 03 医師の人柄が良いこと |
| 04 病気や治療についてよく説明してくれること |
| 05 健康や疾病予防、医療・介護の相談に気軽に応じてくれること |
| 06 どんな病気でも診てくれること |
| 07 深夜や休日などの緊急時にも診てくれること |
| 08 往診を頼んでも断らないこと |
| 09 あなたの病歴や健康状態などをよく知っていること |
| 10 あなたのご家族の病歴や健康状態などもよく知っていること |
| 11 医師の診察技術が優れていること |
| 12 必要なときに、適切な医師・医療機関・訪問看護ステーション等を紹介してくれること |
| 13 最新の設備が整えられていること |
| 14 その他 () |

問 15 あなたご自身やご家族が深夜や休日などに具合が悪くなったときに、主にどのような対応をしていますか。(○をいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 01 病気になるといつも相談し、診察を受ける医師に連絡して、その指示に従う |
| 02 市区町村の救急相談窓口相談して、その指示に従う |
| 03 自分で救急医療情報を調べて、救急医療機関(病院・診療所)へ行く |
| 04 とりあえず大きな病院へ行く |
| 05 市販の薬を服用し様子をみる |
| 06 119番に電話をして救急車を呼ぶ |
| 07 その他 () |

問 16 休日・夜間の子どもの急な病気にどう対処したらよいのか判断に迷ったときに、小児科医師・看護師から電話で相談を受けられる「小児救急電話相談(#8000)」をご存知ですか。

- | | |
|----------|---------|
| 01 知っている | 02 知らない |
|----------|---------|

問 16-1【問 16 で 01 を選んだ方のみ】実際に利用したことはありますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 01 利用したことがある | 02 利用したことはない |
|--------------|--------------|

問 17 休日・夜間に軽症患者の救急医療機関への受診が増加し、病院勤務医の負担が過重となっている現状についてご存知ですか。

- | | |
|----------|---------|
| 01 知っている | 02 知らない |
|----------|---------|

問 18 各都道府県で地域の実情に応じて**医療計画（地域の医療体制の整備を促進し、効率のよい医療を提供できるよう、都道府県が5年ごとに定める計画）**が策定されていることをご存知ですか。

- 01 知っている 02 知らない

問 18-1【問 18 で 01 を選んだ方のみ】どのようにしてご存知になりましたか。

- 01 都道府県のホームページ 02 市区町村のホームページ、広報
03 新聞、雑誌、本 04 その他（ ）

問 19 **医療機関の受診のあり方**として、次のAとBの2つの考え方について議論されています。あなたはどちらに賛成しますか。（○を1つ）

- A. 病気の症状の程度に関わらず、病院と診療所の区別なく自分の選んだ医療機関を受診する
B. 最初に決まった医師を受診し、その医師の判断で、必要に応じて病院等の専門医療機関を受診する

- 01 A の意見に賛成である
02 A の意見にどちらかといえば賛成である
03 B の意見にどちらかといえば賛成である
04 B の意見に賛成である
05 どちらともいえない

問 19-1【問 19 で 01 又は 02 を選んだ方のみ】その**理由**は何ですか。（○をいくつでも）

- 01 いつも高度な医療機能をもつ大病院を受診したいから
02 いつも同じ医師の診断ばかり受けていては不安だから
03 その都度、そのときの症状に応じた専門医に診察をしてほしいから
04 その他（ ）
05 わからない

問 19-2【問 19 で 03 又は 04 を選んだ方のみ】その**理由**は何ですか。（○をいくつでも）

- 01 まずは、自分のことをよく知っている医師を受診した方が安心だから
02 医師によって診断結果が異なるのが不安だから
03 自分だけで、そのときの症状に応じて適切な医療機関を選ぶことが難しいから
04 その他（ ）
05 わからない

問 19-3【問 19 で 03 又は 04 を選んだ方のみ】例えば、**一般診療所の医師を事前に選んで登録しておき、体に何か不調を感じたときには、最初にその医師を必ず受診し、救急以外では病院を自由に受診できない**としたら、どのようにお感じですか。（○を1つ）

- 01 全く不安を感じない 02 それほど不安を感じない
03 やや不安を感じる 04 非常に不安を感じる
05 どちらともいえない

介護サービスについてお尋ねします。

問 20 現在のわが国の介護の状況に対してどのようにお感じですか。(○を1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 01 かなり満足している | 02 やや満足している |
| 03 やや不満である | 04 かなり不満である |
| 05 どちらともいえない | |

問 21 自宅で受ける介護保険サービスとしてご存知のものはどれですか。(○をいくつでも)

- | |
|--|
| 01 ホームヘルプサービス (ホームヘルパーの訪問) |
| 02 訪問入浴介護 (入浴車の巡回) |
| 03 訪問看護 (看護師などの訪問) |
| 04 訪問リハビリテーション (リハビリの専門職の訪問) |
| 05 デイサービス (施設に通って入浴や日常生活動作の訓練を受ける) |
| 06 デイケア (施設に通ってリハビリを受ける) |
| 07 ショートステイ (介護が必要な高齢者を施設に一時的に預ける) |
| 08 福祉用具 (ベッド・車いす・便座など) の貸与や購入費の支給 |
| 09 住宅改修費 (手すりの取り付けや段差の解消など) の支給 |
| 10 小規模多機能型居宅介護 (登録型のホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイを組み合わせたサービス) |
| 11 夜間対応型ホームヘルプサービス (通報に応じてホームヘルパーが訪問したり、夜間の定期的な巡回訪問を受けることのできるサービス) |
| 12 認知症対応型デイサービス (認知症高齢者が施設に通って入浴や日常生活動作の訓練を受ける) |
| 13 介護予防サービス (日常生活を営む上で支障のある高齢者に対するホームヘルプサービスやデイサービスなど) |
| 14 居宅介護支援事業所 (常に介護を必要とする在宅の高齢者が必要な保健医療・福祉サービスの適切な利用ができるよう援助する事業所) |
| 15 地域包括支援センター (地域住民の心身の健康の保持と生活の安定のために総合相談や虐待防止などの権利擁護事業などを実施する施設) |
| 16 いずれも知らない |

問 22 現在、24 時間体制で1日複数回にわたる定期・随時訪問によって訪問介護・訪問看護を提供する「24時間地域巡回型訪問サービス」の創設が検討されていることをご存知ですか。

- | | |
|----------|---------|
| 01 知っている | 02 知らない |
|----------|---------|

問 23 **自宅以外で介護保険サービスを受ける施設**としてご存知のものはどれですか。(○をいくつかつでも)

- | |
|---|
| 01 介護療養型医療施設（病状が安定している長期療養患者が入院する病院・診療所） |
| 02 老人保健施設（病状安定期にあり、入院による治療の必要はないが、リハビリ、看護、介護を中心とした医療ケアが必要な高齢者向けの施設） |
| 03 特別養護老人ホーム（常に介護を必要とする高齢者を介護する施設） |
| 04 認知症高齢者グループホーム（認知症の高齢者が共同生活を営む住居） |
| 05 特定施設（一定の設備・人員を有する介護付き有料老人ホームやケアハウス、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅） |
| 06 いずれも知らない |

問 24 【40 歳以上の方のみ】あなたは、現在も含めて今までに、**介護保険サービスを利用したことがありますか**。ご家族ではなく、ご自身を対象とした介護サービスの利用についてご回答ください。

- | | | |
|-------------|----------------|--------------|
| 01 現在利用している | 02 以前利用したことがある | 03 利用したことはない |
|-------------|----------------|--------------|

問 25 あなたの家族の中に、現在も含めて今までに、**寝たきりなどになって、介護が必要になった方**がいらっしゃいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 01 いる | 02 いない |
|-------|--------|

問 25-1 【問 25 で 01 を選んだ方のみ】介護が必要になったご家族の中で、**現在、介護保険サービスを利用している方**はいらっしゃいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 01 いる | 02 いない |
|-------|--------|

問 25-2 【問 25-1 で 01 を選んだ方のみ】**利用している介護保険サービス**を教えてください。(○をいくつかつでも)

また、選ばれた介護保険サービスの**満足度**をそれぞれお選びください。(○をそれぞれ1つ)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 01 自宅で居宅サービス（訪問介護や訪問看護等）を利用している | → (01 かなり満足 02 やや満足 03 やや不満 04 かなり不満 05 どちらともいえない) |
| 02 介護療養型医療施設や老人保健施設、特別養護老人ホームを利用している | → (01 かなり満足 02 やや満足 03 やや不満 04 かなり不満 05 どちらともいえない) |
| 03 認知症高齢者グループホームを利用している | → (01 かなり満足 02 やや満足 03 やや不満 04 かなり不満 05 どちらともいえない) |
| 04 介護付き有料老人ホーム等の特定施設を利用している | → (01 かなり満足 02 やや満足 03 やや不満 04 かなり不満 05 どちらともいえない) |
| 05 その他 () | → (01 かなり満足 02 やや満足 03 やや不満 04 かなり不満 05 どちらともいえない) |

問 26 仮に、あなたご自身が高齢期に寝たきりや認知症になり、介護が必要となった場合に、どこで介護を受けたいと考えますか。(○を1つ)

- | | | |
|--|------------------|-----------|
| 01 自宅 | 02 病院 | 03 老人保健施設 |
| 04 特別養護老人ホーム | 05 認知症高齢者グループホーム | |
| 06 特定施設(介護付き有料老人ホームやケアハウス、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅) | | |
| 07 その他() | | 08 わからない |

問 26-1【問 26 で 01 を選んだ方のみ】その理由は何ですか。(○をいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 01 在宅(自宅)で十分な介護が受けられるから | 02 現在の住まいで生活を続けたいから |
| 03 施設で他人の世話になるのはいやだから | 04 他人との共同生活はしたくないから |
| 05 施設では自由な生活ができないから | 06 施設に入るだけの経済的余裕がないから |
| 07 施設を利用することに抵抗を感じるから | 08 具体的に施設を知らず、不安だから |
| 09 その他() | 10 わからない |

問 27 仮に、ご家族のどなたかが高齢期に寝たきりや認知症になり、介護が必要となった場合に、どこで介護を受けてほしいと考えますか。(○を1つ)

- | | | |
|--|------------------|-----------|
| 01 自宅 | 02 病院 | 03 老人保健施設 |
| 04 特別養護老人ホーム | 05 認知症高齢者グループホーム | |
| 06 特定施設(介護付き有料老人ホームやケアハウス、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅) | | |
| 07 その他() | | 08 わからない |

問 28 **介護保険サービスの拡大・充実に関するご要望**として最も近いものをお選びください。(○を1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 01 ホームヘルプや訪問看護等の訪問サービスの整備を進めてほしい |
| 02 特別養護老人ホームや老人保健施設等の施設の整備を進めてほしい |
| 03 認知症高齢者グループホームや特定施設等の整備を進めてほしい |
| 04 その他() |
| 05 特になし |

問 29 医療機関においては、介護と医療の両方を必要とする高齢者が長期療養のために入院する介護保険適用の療養病床の廃止(平成 23(2011)年度末)に伴い、療養病床を老人保健施設や有料老人ホームなどへ転換するよう促されてきました。ところが、老人保健施設等への転換があまり進んでいないことなどを理由として、廃止期限が平成 29(2017)年度末まで延長されることとなっています。

あなたの**療養病床の削減についての考え**として最も近いものをお選びください。(○を1つ)

- | |
|--|
| 01 医療スタッフが多くいる医療機関で長期療養できる病床が削減されることに不安を感じる |
| 02 看護職員が多くいる老人保健施設等や特定施設の整備が進むのであれば削減してよいと思う |
| 03 往診や訪問看護等の在宅医療の整備が進むのであれば削減してよいと思う |
| 04 その他() |
| 05 特になし |

問 30 介護保険制度では原則として40歳以上の全ての国民が**保険料**を負担しており、65歳以上の被保険者の保険料は1ヵ月当たり平均で4,160円(平成21～23年度)となっています。あなたはこの負担をどのように感じますか。(○を1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 01 非常に高いと感じる | 02 やや高いと感じる |
| 03 やや低いと感じる | 04 非常に低いと感じる |
| 05 どちらともいえない | |

問 31 介護保険サービスの利用者はかかる費用の原則1割分を**自己負担**として支払いますが、あなたはこの負担をどのように感じますか。(○を1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 01 非常に高いと感じる | 02 やや高いと感じる |
| 03 やや低いと感じる | 04 非常に低いと感じる |
| 05 どちらともいえない | |

問 32 **増加する介護費を賄う方法**として、あなたはどの方法がよいと思いますか。(○を1つ)

- | |
|--|
| 01 <u>税金を引き上げても国や地方自治体の負担金を増やす方がよい</u> |
| 02 保険料を引き上げる方がよい |
| 03 税金も保険料も増やさずに介護サービスを利用したときの利用者の支払いを増やす方がよい |
| 04 その他 () |
| 05 わからない |

問 32-1 【問 32 で 01 を選んだ方のみ】 次のうち、**どの税金で賄うのがよい**と思いますか。

- | | | |
|--------|--------|------------|
| 01 消費税 | 02 所得税 | 03 その他 () |
|--------|--------|------------|

問 33 平成12(2000)年度に介護保険制度が導入されてから10年経ちましたが、**我が国の介護を取り巻く環境**についてどのように感じますか。(○を1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 01 非常に改善したと感じる | 02 やや改善した感じる |
| 03 やや悪化したと感じる | 04 非常に悪化したと感じる |
| 05 どちらともいえない | |

問 34 あなたは今までに、**ご家族や親族等を在宅で看取ったこと**（病人を亡くなるまで看病したこと）がありますか。

01 ある	02 ない
-------	-------

問 35 例えば、あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている（6カ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、どのようにしたいですか。

① **どのような医療**を受けたいですか。（○を1つ）

01 病気の治療を目的として、検査・手術・延命処置などを受けたい
02 疼痛緩和*中心の症状コントロール、精神的援助、また家族への援助などを受けたい
03 わからない

※疼痛緩和：痛みなどの、病気による不快な症状などを緩和・軽減することです。

② 自分の終末期医療（死期が迫っている際の医療）の受け方について、事前に**意思確認書**のようなものを作成しておきたいと考えますか。（○を1つ）

01 既に作成している	02 作成したい
03 作成したいとは思わない	04 どちらともいえない

③ **どこで終末期の医療**を受けたいですか。（○を1つ）

01 自宅	02 病院	03 ホスピス等の緩和ケア施設*
04 老人保健施設	05 特別養護老人ホーム	06 認知症高齢者グループホーム
07 特定施設（介護付き有料老人ホームやケアハウス、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅）		
08 その他（		09 わからない

※緩和ケア施設：末期がん等による疼痛を主とした不快な症状や、不安に苦しむ患者の身体の諸症状を和らげ、平穏な心を取り戻すために援助し、本来のその人らしさを発揮して生命を全うすることを目的とする施設です。

③-1【問 35③で 01 を選んだ方のみ】**自宅で最期まで療養するためには**、主に何が必要だとお考えですか。（○をいくつでも）

01 往診・訪問診療をしてくれる医師	02 訪問看護（看護師の訪問）体制
03 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制	04 24時間相談にのってくれる専門家・機関
05 介護してくれる家族	06 居住環境の改修
07 症状が急に悪くなったときに、すぐ入院できる医療機関	08 経済的な支援
09 その他（	

医療全般についてお尋ねします。

問 36 現在のわが国の医療の状況に対してどのようにお感じですか。(○を1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 01 かなり満足している | 02 やや満足している |
| 03 やや不満である | 04 かなり不満である |
| 05 どちらともいえない | |

問 37 これまでの経験から、医療機関に対して何かご要望がありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 01 ある | 02 ない |
|-------|-------|

問 37-1 【問 37 で 01 を選んだ方のみ】特にどのようなご要望がありますか。(○をいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 01 病気の状態や治療法をよく説明してほしい |
| 02 患者の訴えを十分に聞いてほしい |
| 03 検査はあまりしないでほしい |
| 04 待ち時間を短くしてほしい |
| 05 往診の依頼に応じてほしい |
| 06 注射や投薬はあまりしないでほしい |
| 07 医師、看護師、受付職員はもっと親切にしてほしい |
| 08 難しい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい |
| 09 休日や夜間でも、救急のときは診察してほしい |
| 10 待合室や病室をもっと快適にしてほしい |
| 11 得意分野を教えてほしい |
| 12 セカンドオピニオン等の他の医師の診断を受けやすくしてほしい |
| 13 その他 () |

問 38 今後の医療のあり方として、特に望ましいことは何ですか。(○をいくつでも)

- | |
|---|
| 01 医師、看護師等の医療従事者の確保・育成 |
| 02 高度な機能を有する医療機関の整備 |
| 03 往診等の在宅医療に対応し、訪問看護ステーションや介護事業者等と連携する医療機関の整備 |
| 04 夜間や休日における救急医療体制の整備 |
| 05 遺伝子治療等の高度先進医療の推進 |
| 06 医療機関の積極的な情報開示 |
| 07 緩和ケアに対応できる医療機関の整備 |
| 08 医療機関間での患者情報(検査・画像診断の結果等)の共有化 |
| 09 長期入院できる医療機関の整備 |
| 10 その他 () |
| 11 わからない |

問 39 **医療機関を選ぶ**にあたり、何を参考にしていますか。(○をいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 01 病気になるといつも相談し、診察を受ける医師に相談する |
| 02 家族、友人、知人からの意見を聞く |
| 03 新聞、雑誌、本などの情報を調べる |
| 04 <u>インターネットの情報を調べる</u> |
| 05 電話帳を調べる |
| 06 その他 () |
| 07 特になし |

問 39-1 【問 39 で 04 を選んだ方のみ】 どのようなインターネットのサイトで調べますか。(○をいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 01 都道府県・市区町村のホームページ |
| 02 医療機関のホームページ |
| 03 ぽすびたる！* |
| 04 「ぽすびたる！」以外の医療機関検索サイト |
| 05 その他 () |

※健康保険組合連合会が提供している全国の病院検索サイトです。
<http://www.kenporen-hios.com>

問 40 **医療機関の情報**として特にほしいと思う情報の内容はどれですか。(○をいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 01 診療科目 | 02 専門医・認定医・指導医の勤務状況 |
| 03 医師の専門分野 | 04 医師の経歴、年齢、性別 |
| 05 夜間・休日診療の実施の有無 | 06 往診・訪問診療の実施の有無 |
| 07 手術の実施件数・成功率 | 08 入院患者の受入基準 |
| 09 必要な費用の概ねの金額 | 10 連携している医療機関・介護施設 |
| 11 第三者機関による医療機関の評価 | 12 その他 () |

問 41 平成 20 (2008) 年度の日本の国民医療費は 34 兆 8,084 億円*で、国民所得に対する割合は 9.90%です。あなたは日本の医療費をどのように感じますか。(○を 1 つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 01 非常に高いと感じる | 02 やや高いと感じる |
| 03 やや低いと感じる | 04 非常に低いと感じる |
| 05 どちらともいえない | |

※平成 20 (2008) 年度のわが国の一般会計予算 (歳出) は約 83 兆円です。

問 42 平成 20 (2008) 年度の日本の国民 1 人当たり医療費は 27 万 2,600 円です。この医療費は保険料や税金、医療機関等にかかった時の患者負担などの形で国民が負担しています。**あなたはこの負担をどのように感じますか。**(○を 1 つ)

- 01 重いと感じる
- 02 やや重いと感じる
- 03 あまり重いと感じない
- 04 重いと感ない
- 05 どちらともいえない

問 42-1 【問 42 で 01 又は 02 を選んだ方のみ】あなたが**重いとお考えになっているのはどのような点**ですか。(○をいくつでも)

- 01 医療機関等にかかったときの自己負担費用が高すぎる
- 02 保険料が高すぎる
- 03 医療費そのものが高すぎる
- 04 その他 ()
- 05 わからない

問 43 今後、急速に進む少子高齢化により医療費が増加することが見込まれます。そのような状況の中で、あなたが思う**医療サービスと費用負担のありかた**について最も近いものを選びください。(○を 1 つ)

- 01 現行の医療サービスの水準を据え置いたままで、負担増はやむを得ない
- 02 医療サービスの水準をさらに引き上げて、それに伴う負担増は生じてもよい
- 03 医療サービスの水準を今よりも低下させて、最低限の負担増がよい
- 04 その他 ()

問 44 **増加する医療費を賄う方法***として、あなたはどの方法がよいと思いますか。(○を 1 つ)

- 01 税金を引き上げても国や地方自治体の負担金を増やす方がよい
- 02 保険料を引き上げる方がよい
- 03 税金も保険料も増やさずに医療機関等にかかったときの患者の支払いを増やす方がよい
- 04 その他 ()
- 05 わからない

*平成 20 (2008) 年度の国民医療費の内訳は保険料 48.8%、公費 37.1%、患者負担 14.1%です。

問 44-1 【問 44 で 01 を選んだ方のみ】次のうち、**どの税金で賄うのがよい**と思いますか。

- 01 消費税
- 02 所得税
- 03 その他 ()

問 45 増加する医療費の伸びを抑える方法として、あなたはどの方法がよいと思いますか。(○をいくつでも)

01 病院等の病床数の削減	02 入院期間の短縮化
03 在宅医療の充実	04 介護サービスの充実
05 ジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及	06 IT化による医療の効率化
07 特定健診・保健指導等による病気の予防	08 わからない
09 その他（	）

問 46 医療機関や薬局で発行される医療内容の分かる明細書についておうかがいします。

① 平成 22（2010）年 4 月から（一般診療所は同年 8 月から、歯科診療所は平成 23（2011）年 5 月から）医療機関や薬局などで明細書*の無料発行が原則義務化されたことをご存知でしたか。

01 知っている	02 知らない
----------	---------

※医療機関や薬局で受け取る「領収書」と「明細書」は以下のような違いがあります。

領収書は「初・再診料 計〇〇点」、「検査料 計〇〇点」など項目ごとの診療報酬点数しかわかりません。

これに対し、明細書は「再診料 69 点」、「外来管理加算 52 点」、「D000 尿中一般物質定性半定量検査 26 点」というように詳細な値段の内訳がわかります（1 点=10 円）。

② 今までに、医療機関や薬局で明細書を受け取ったことがありますか。

01 ある	02 ない
-------	-------

②-1【問 46②で 01 を選んだ方のみ】明細書を受け取って良かったことは何ですか。(○をいくつでも)

01 治療・検査・薬などの具体名がわかりやすくなった	
02 医療費の内訳がわかりやすかった	
03 医師等に治療・検査・薬について質問・相談がしやすくなった	
04 医療機関等を選択する際の参考となった	
05 医療機関等への安心感・信頼感が高まった	
06 その他（	）
07 特になし	

②-2【問 46②で 01 を選んだ方のみ】明細書を受け取って困ったことは何ですか。(○をいくつでも)

01 用語がわかりにくかった	
02 医療費の内訳がわかりにくかった	
03 明細書の見方についての説明がなかった	
04 会計窓口で医療費に関する質問がしにくかった	
05 医師等に治療・検査・薬についての質問・相談がしにくかった	
06 明細書発行までに時間がかかった	
07 明細書発行手数料をとられた	
08 その他（	）
09 特になし	

③ 医療機関や薬局で発行される**明細書を必要だ**と思いますか。

- 01 思う
- 02 思わない

③-1 【問 46③で 02 を選んだ方のみ】 その**理由**は何ですか。(○をいくつでも)

- 01 明細書をもらっても内容がよくわからないため
- 02 個人情報であり廃棄方法が不安であるため
- 03 領収証の内容で十分なため
- 04 明細書発行までに時間がかかるため
- 05 毎回ほぼ同じ内容であるため
- 06 その他 ()

問 47 あなたは**ジェネリック医薬品（後発医薬品）***をご存知ですか。

- 01 知っている
- 02 知らない

※先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に販売される医薬品で、先発医薬品と同等であること（例えば、品質、安定性、服用後の血中濃度の推移など）を厚生労働省が認めたもので、先発医薬品に比べて価格は安くなっています。

問 47-1 【問 47 で 01 を選んだ方のみ】 ジェネリック医薬品を**どのようにしてご存知になりましたか**。(○をいくつでも)

- 01 受診した医療機関の医師から
- 02 医療機関や薬局の薬剤師から
- 03 家族、友人、知人から
- 04 テレビの番組、CM から
- 05 新聞、雑誌、本から
- 06 インターネットから
- 07 医療保険者からの広報
- 08 その他 ()

問 47-2 【問 47 で 01 を選んだ方のみ】ジェネリック医薬品を服用したことがありますか。

01 ある

02 ない

問 47-3 【問 47-2 で 01 を選んだ方のみ】服用することになったきっかけは何ですか。(○をいくつでも)

01 医療保険者から送られてきたジェネリック軽減額通知(差額通知等)*をみて

02 医療機関で医師にすすめられた

03 薬局で薬剤師にすすめられた

04 誰からもすすめられていないが、自発的に希望した

05 その他 ()

※問 49 の注を参照してください。

問 47-4 【問 47-2 で 01 を選んだ方のみ】服用した感想はそれまでの先発品と比べていかがでしたか。(○をそれぞれ1つ)

(1) 薬の効き目	01 変わらない	02 効き目が落ちた	03 わからない
(2) 薬の安全性	01 不安を感じなかった	02 不安を感じた	03 わからない
(3) 窓口での負担	01 かなり安くなった	02 それほど変わらなかった	03 わからない

問 47-5 【問 47-2 で 02 を選んだ方のみ】服用しなかった理由は何ですか。(○をいくつでも)

01 病気をしないため、薬を処方されたことがあまりないから

02 医師にジェネリック医薬品の処方を希望したが、断られたから

03 薬局の薬剤師にジェネリック医薬品を勧められたことがないから

04 薬局の薬剤師にジェネリック医薬品の調剤を断られたから

05 普段から使い慣れている薬が良いから

06 薬の効き目に不安があったから

07 薬の安全性に不安があったから

08 窓口で支払う薬代がそれほど変わらなかったから

09 とりあえず様子を見ようと思ったから

10 その他 ()

11 わからない

問 47-6 【問 47-5 で 04 を選んだ方のみ】薬局の薬剤師にジェネリック医薬品の調剤を断られた理由は何ですか。(○をいくつでも)

01 ジェネリック医薬品への変更が医師の指示によりできなかったから

02 ジェネリック医薬品の在庫がなかったから

03 ジェネリック医薬品の取り扱いがなかったから

04 特に説明はなかった

05 その他 ()

問 50 あなたは**整骨院や接骨院、鍼灸院**などで、平成 22（2010）年 9 月以降に施術を受けたことがありますか。（○をいくつでも）

- | |
|------------------------------------|
| 01 整骨院や接骨院などで、柔道整復師*の施術を受けたことがある |
| 02 鍼灸院などで、はり・きゅう、マッサージの施術を受けたことがある |
| 03 整骨院や接骨院、鍼灸院などで、施術を受けたことはない |

※柔道整復師とは、ほねつぎ・接骨師・整骨師として広く知られ、厚生労働大臣免許の下で打撲、捻挫、挫傷（筋、腱の損傷）、骨折、脱臼などの施術をする職業の正式名称です。

問 50-1【問 50 で 01 を選んだ方のみ】柔道整復の施術を行う整骨院や接骨院では、平成 22（2010）年 9 月から領収書の発行が義務付けられましたが、**会計の際に領収書をもらいましたか。**

- | | |
|---------|------------|
| 01 もらった | 02 もらっていない |
|---------|------------|

問 51 整骨院や接骨院、鍼灸院などで、柔道整復師やはり・きゅう、マッサージの施術を受けた場合、**健康保険の対象となる範囲が限定されていること***をご存知ですか。

- | | |
|----------|---------|
| 01 知っている | 02 知らない |
|----------|---------|

※整骨院や接骨院では急性の外傷性の骨折、不全骨折、脱臼、打撲、捻挫、肉ばなれのと看、健康保険でかかれます。ただし、外傷性ではなく、いつ負傷したかはっきりしない痛みの施術は、健康保険の対象外で、全額自己負担になります。また、鍼灸院でのはり・きゅう・あんま・マッサージの場合は、特殊な疾病や症状のため、医療機関で通常行う療養を行っても効果が得られず、あんま師、はり師、またはきゅう師の施術によれば相当の効果が期待できるものとして、医師がその必要性を認めた場合に限って健康保険を使うことができます。

問 52 あなたが加入している医療保険者（健保組合、協会けんぽ、国民健康保険等）のサービスについてどのようにお感じですか。（○を1つ）

01 かなり満足している	02 やや満足している
03 やや不満である	04 かなり不満である
05 どちらともいえない	

問 53 医療保険者からどのようなサービスを受けていますか。また、どのようなサービスの充実を希望しますか。それぞれについて、該当するものを全て選び欄内に○をおつけください。

	現在受けているサービス (該当するもの○)	充実を希望するサービス (該当するもの○)
01 電子媒体（ホームページ・メールなど）による情報提供		
02 広報誌（紙）の配布		
03 生活習慣病健診などの健診事業		
04 保養所の紹介		
05 医療機関情報の提供		
06 保健師などによる健康相談・指導		
07 医療費の自己負担への補助（付加給付）		
08 家庭用医薬品などの配布		
09 健康教室などのイベント		
10 医療費通知		
11 ジェネリック軽減額通知（差額通知等）		
12 直営医療機関※での受診		
13 その他（ ）		
14 いずれもあてはまらない		

※直営医療機関とは、あなたが加入している医療保険者が直接運営している医療機関のことです。